



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和5年度 事 業 概 要



日本赤十字社 福島県支部
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るために、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の救助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

はじめに

赤十字事業の推進につきましては、平素から社員の皆様をはじめ、関係者の皆様並びに多くの県民の皆様からご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年1月1日に発生した能登半島地震は、最大震度7を観測し、北陸地方に甚大な被害をもたらしました。日本赤十字社では、発災直後から全社を挙げて救護・支援活動を展開し、福島県支部からも救護班、災害医療コーディネートチーム、こころのケア班など8班を石川県へ派遣しました。被災地では、避難所の巡回診療や感染症対策などの医療支援に加え、こころのケアも行うなど被災者に寄り添いながら支援活動に取り組んでまいりました。

また、県内では令和5年9月の台風第13号による大雨により、いわき市を中心に甚大な被害が発生しました。当支部では救援物資をお届けしたほか、義援金の募集や赤十字ボランティアによる被災者支援活動などを行ったところであります。

近年、自然災害が頻発化、激甚化する中、当支部では災害時に迅速な対応ができるよう災害救護体制の強化を図るとともに、災害時の備えとなり、地域の防災力向上に寄与する防災セミナーの充実にも努めているところです。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行もあり、救急法等講習会の実施回数はコロナ禍以前の水準に戻り、広く皆様に普及することができました。

こうした支部事業は、県民の皆様からお寄せいただく活動資金（社資）を財源におこなわれております。令和5年度におきましても、厳しい社会経済情勢の中、県内各地区・分区をはじめ、有功会、奉仕団等赤十字関係者のご努力とご支援、そして県民や法人のご協力をいただき、計画していた事業を実施することができました。改めて、関係の皆様に心から感謝を申し上げます。

また、福島赤十字病院では、県民のいのちと健康を守るため、救急医療、地域医療、災害医療の中核として、より質の高い医療の提供に努めてまいります。

福島県赤十字血液センターでは、若年層への積極的な献血推進や医療ニーズに即した献血の推進を図りながら、血液の安定供給に努めてまいります。

今後も、赤十字の「人道・博愛」の精神に基づき、県民福祉の向上に貢献できる各種事業を推進してまいりますので、皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年9月

日本赤十字社福島県支部

目 次

1	災害救護	1
2	救護看護師の養成	8
3	救急法・健康生活支援講習等の普及	9
4	赤十字奉仕団	14
5	青少年赤十字(JRC)の育成	19
6	社会福祉活動	28
7	国際活動	29
8	広報	31
9	医療事業	33
10	血液事業	36
11	評議員会	39
12	業務監理執行及び会計の監査	39
13	赤十字社員増強運動	40
14	会計報告	46
15	日本赤十字社福島県支部役員名簿	47
	資料編	48

1 災害救護

日本赤十字社の災害救護活動は、赤十字としての本来の使命に根ざした重要な活動であり、国際的にはジュネーブ諸条約や赤十字国際会議の決議に基づき、国内では日本赤十字社法及び同定款に基づき行われている。

また、災害救助法において国及び都道府県の救助活動に協力する義務が規定され、その具体的な内容については「内閣府（防災担当）との協定」により取り決めがなされている。さらに、災害対策基本法により「指定公共機関」として位置づけられている。

これらを踏まえ、日本赤十字社は救護規則、防災業務計画等を定め、医療救護、救援物資の備蓄及び配分、血液製剤の供給、支援金の受付及び配分、その他応急対応に必要な業務のほか、復旧・復興、防災・減災に関する業務を行っている。

① 災害救護

ア 令和5年台風第13号

令和5年9月8日から9日にかけて降り続いた台風13号による大雨は、いわき市を中心には甚大な被害をもたらした。本災害に対し、当支部では、福島県災害対策本部に職員を派遣し情報収集を行うとともに、特に被害の大きかったいわき市の避難所への救援物資の配布や赤十字奉仕団による指圧マッサージの提供などの活動を行った。

(1) 救援物資の配布

毛布	緊急セット	安眠セット	タオルケット	バスタオル	ダンボールベッド
50	188	30	110	60	30

(2) 職員の派遣

期日	人数	場所	活動内容
9月9日～10日	1名	福島県庁	情報収集ほか
9月12日	3名	いわき市	救援物資搬送・ダンボールベッド設置支援
9月15日	1名	いわき市	救援物資搬送
9月17日	5名	いわき市	ボランティアと避難所支援

(3) 赤十字ボランティアの活動

奉仕団名	期日	人数	場所	活動内容
福島県あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう赤十字奉仕団	9月17日	12名	内郷コミュニティーセンター（避難所） 内郷内町現地支援センター 内郷白水町現地支援センター	被災された方への指圧マッサージの提供
内郷方部赤十字奉仕団	9月17日	4名	内郷コミュニティーセンター（避難所）	上記活動の会場設営支援

(4) 令和5年台風第13号災害支援金の受付 令和5年9月13日～令和5年12月31日



イ 令和6年能登半島地震

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、甚大な被害をもたらした。この地震に対し、日本赤十字社では全社を挙げて救護活動を展開した。当支部においても下記のとおり救護班を派遣したほか、義援金の受付を行った。

(1) 救護班の派遣

	期 日	場 所	救護班員
第1班	1月6日～10日	石川県能登町	医師1 看護師長1 看護師2 主事2 薬剤師1 連絡調整員1 計8名
第2班	1月17日～21日	石川県能登町	医師1 看護師長1 看護師2 主事2 薬剤師1 連絡調整員1 計8名
第3班	1月23日～27日	石川県能登町	医師1 看護師長1 看護師2 主事2 薬剤師1 連絡調整員1 計8名
第4班	2月1日～5日	石川県能登町	医師2 看護師長1 看護師2 主事3 薬剤師1 計9名
第5班	2月15日～19日	石川県能登町	医師2 看護師長1 看護師2 主事2 連絡調整員1 計8名

(2) 日赤災害医療コーディネートチームの派遣

	期 日	場 所	コーディネートチーム
第1班	2月3日～9日	石川県珠洲市	医師1 看護師1 主事1 計3名
第2班	3月7日～13日	石川県金沢市	医師1 看護師1 主事1 計3名

(3) こころのケア班の派遣

	期 日	場 所	こころのケア要員
第1班	2月22日～28日	石川県七尾市	こころのケア指導者 4名 赤十字ボランティア※ 1名 計5名

※福島県あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう赤十字奉仕団員

(4) 厚生労働省からの要請に基づく看護師派遣（被災地内医療機関支援）

期 日	場 所	看 護 師
2月1日～7日	市立輪島病院	1名

(5) DMAT ロジスティックチームの派遣

期 日	場 所	DMAT ロジスティックチーム隊員
2月1日～6日	輪島市	業務調整員 1名

② 救護員の登録

災害に備えて救護班8班を常備し、毎年度更新登録している。

ア 救護員の登録



	医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師	災対本部要員	血液供給要員	合計
日本赤十字社福島県支部				7			5		12
福島赤十字病院	41	8	105	64	4	13	19		254
福島県赤十字血液センター			1	2			13	22	38
合計	41	8	106	73	4	13	37	22	304

イ 令和5年度常備救護班編成表

	第1救護班	第2救護班	第3救護班	第4救護班
医 師	大須賀文彦	佐藤 法義	井上 卓哉	浅間 宏之
看護師長	柳田 美穂	菅野いづみ	泉 弘子	鈴木 牧子
看 護 師	田島 一樹	渡辺みなみ	横山 郁美	佐藤 友里
	磯松 咲乃	菊地悠示郎	野崎 美砂	中沢 利樹
主 事	佐藤 隆昭	山名慎一郎	三浦 有樹	池田 久光
	明田 充弘	村上 風太	幕田 高平	相田 悅子
	第5救護班	第6救護班	第7救護班	第8救護班
医 師	阪本 貴之	菅野有紀子	大原 美希	多田 靖宏
看護師長	鈴木 安英	武井 明美	武田 里美	安達 明美
看 護 師	三浦 愛	金子 尚代	玉手 智美	齋藤 幸恵
	佐藤 祐子	森田 直子	梅宮 誠	渡邊 泰昇
主 事	奈良輪大輔	金原 昭世	菅野 直樹	横山 剛
	小河原貴之	三浦 義喜	佐藤 勝行	秋元 礼智

薬剤師	緑上 淳一 大竹麻衣子 矢葺 優佳	渡部 寿康 寺内優紀恵 猪股 育美	川村 早苗 菊池 洋平	酒井 亮 古賀 彩織	佐藤 南 安齋 英里	井上可奈子 武藤 芳和
-----	-------------------------	-------------------------	----------------	---------------	---------------	----------------

支部連絡調整員	石田 政幸 矢吹 優舞	久保 芳宏 戸田 真由	松本 琢也 中村 麻佑	出口 智美	野崎 謙司	相澤真理子
---------	----------------	----------------	----------------	-------	-------	-------

こころのケア指導者	岩崎 瞳子 (病院)	高根 晴美 (病院)	國分 花子 (病院)	菅野 直樹 (病院)
	武田 里美 (病院)	柳田 美穂 (病院)	佐藤 裕子 (病院)	葛岡 大輔 (病院)
	中島 良介 (病院)	成澤 裕美 (支部)	野崎 謙司 (支部)	

ウ 日本DMAT登録者

医 師	遠藤 豪一 (統括 DMAT)	市川 剛	渡部 研一	中村耕一郎	今野 友貴
看 護 師	奈良輪弘美 梅宮 誠 北原 麻美	泉 弘子 金成 美和	原田 瑞穂 武田 良平	渡邊あゆみ 鈴木 直人	鈴木 安英 田島 一樹
業務調整員	渡部 寿康 野崎 謙司	久保 芳宏 松本 琢也	橋本 健一 酒井 亮	野田 誠	野地 幸次 葛岡 大輔

エ 福島県DMAT登録者

看 護 師	朝倉 恵実	北村 慶	高橋 健太
業務調整員	三浦 有樹	佐藤 隆昭	渡辺 源貴



才 日赤災害医療コーディネートチーム

	氏名	任命職		氏名	任命職
医師	遠藤 豪一	災害医療コーディネーター	医師	渡部 研一	災害医療コーディネーター
医師	市川 剛	災害医療コーディネーター	医師	中村耕一郎	災害医療コーディネーター
看護師	安達 明美	コーディネートスタッフ	看護師	渡邊あゆみ	コーディネートスタッフ
看護師	奈良輪弘美	コーディネートスタッフ	看護師	鈴木 安英	コーディネートスタッフ
看護師	泉 弘子	コーディネートスタッフ	看護師	武田 里美	コーディネートスタッフ
薬剤師	渡部 寿康	コーディネートスタッフ	事務職員	久保 芳宏	コーディネートスタッフ
事務職員	野田 誠	コーディネートスタッフ	事務職員	野地 幸次	コーディネートスタッフ
事務職員	松本 琢也	コーディネートスタッフ	事務職員	野崎 謙司	コーディネートスタッフ
事務職員	葛岡 大輔	コーディネートスタッフ			

力 福島県災害医療コーディネーター

遠藤 豪一 渡部 研一 市川 剛 久保 芳宏

キ 日赤原子力災害医療アドバイザー

中村耕一郎 海藤 隆紀

ク 原子力災害時医療中核人材研修修了者

医師	中村耕一郎
看護師	成澤 裕美 小林 洋子 岩崎 瞳子 鈴木 牧子 黒沢真由美 清和 彩子 柳田 美穂
診療放射線技師	海藤 隆紀 玉根 勇樹 明田 充弘
事務職	葛岡 大輔

③ 救護訓練及び研修

ア 災害救護訓練

名称	開催日	会場	参加者(人)
①福島市総合防災訓練	5月27日(土)	福島市	支部3 病院5
②阿賀川総合水防演習	5月28日(日)	会津若松市	支部4 病院4
③日赤福島県支部災害救護訓練	7月1日(土)	福島県支部	病院48 血セ4 支部7 他病院11
④福島県災害対策本部図上訓練	7月26日(水)	県庁	支部1
⑤日赤福島県支部奉仕団災害救護訓練	8月5日(土)	会津若松市	支部2 奉仕団員56
⑥福島県総合防災訓練	8月26日(土)	郡山市	支部1 病院8
⑦東北ブロック DMAT 参集訓練	10月14日(土)	青森県	支部1 病院5
⑧日本赤十字社第1ブロック支部合同災害救護訓練	10月20日(金)~21日(土)	石巻市	支部3 病院7
⑨東北ブロック内血液センター 合同災害対応訓練	10月20日(金)	血液センター	血液センター
⑩総合南東北病院災害実動訓練	10月28日(土)	郡山市	支部1 病院3
⑪福島県原子力防災訓練（医療中継拠点設置運営訓練）	11月18日(土)	檜葉町	病院7
⑫福島県多數傷病者対応訓練	11月22日(水)	大熊町	支部1 病院5
⑬福島県国民保護共同図上訓練	1月23日(火)	県庁・白河市	支部1・病院3
⑭福島県 DMAT 衛星電話通信訓練	3月11日(月)	支部ほか	支部1・病院1



イ 研修会・会議

名 称	開 催 日	会 場	参加者(人)
①災害急性期対応研修（都道府県担当者研修）	4月25日(火)	仙台市	支部1 (講師)
②防災教育事業主任指導者研修	4月28日(土)	Web	支部1
③防災教育事業指導者養成研修	5月10日(水)～12日(金)	福島県支部	支部9 ボランティア4
④救護員としての赤十字看護師養成研修	6月～11月	病院	病院11
⑤第1ブロック支部事業推進課長会議	6月15日(木)～16日(金)	岩手県支部	支部1
⑥防災教育事業指導者フォローアップ研修	7月4日(火)～5日(水)	本社	支部1
⑦日赤災害医療コーディネート研修会	7月8日(土)～9日(日)	本社	支部1 (スタッフ) 病院1
⑧原子力災害対応にかかる研修作業部会	7月22日(土)	本社	支部2 病院2
⑨第1回東北ブロック DMAT 技能維持研修	8月7日(月)	仙台市	支部1 講師1 病院4
⑩全国赤十字救護班研修会	8月19日(土)～20日(日)	石巻市	(スタッフ) 支部1・病院2 病院6
⑪防災ボランティアリーダー養成研修会	9月2日(土)～3日(日)	本社 Web	ボランティア1
⑫日本災害医療ロジスティクス研修	9月3日(日)～5日(火)	岩手県	支部1 (講師)
⑬日赤災害医療コーディネート研修会	9月23日(土)～24日(日)	本社	病院1
⑭こころのケア指導者養成研修会	10月11日(水)～12日(木)	本社	支部1
⑮福島県 DMAT 研修	11月18日(土)～19日(日)	県立医大	支部1 (講師) 病院4
⑯第1回原子力災害医療アドバイザー会議	12月11日(月)～12日(火)	本社	支部2 病院2
⑰上半期災害対応報告会	12月14日(木)	Web	支部2
⑱ DMAT 隊員養成研修	令和6年 1月10日(水)～12日(金)	東京都	病院2
⑲第1回東北ブロック DMAT 技能維持研修	2月1日(木)	仙台市	病院6
⑳福島市防災会議	2月7日(水)	福島市	支部1
㉑福島県防災会議幹事会議	2月26日(月)	Web	支部1
㉒福島県原子力災害時医療連携ネットワーク会議	3月15日(金)	県立医大	支部1
㉓令和6年能登半島地震対応報告会	3月21日(木)	Web	支部2
㉔福島県防災会議	3月21日(木)	福島県庁	支部1
㉕福島県救急医療対策協議会	令和5年 7月27日(木)	Web	支部1
	10月25日(水)	Web	支部1
	令和6年 1月11日(木)	書面開催	支部1
㉖福島県災害医療対策協議会	3月5日(火)	福島県庁	支部1
	8月3日(木)	Web	支部1
	11月10日(金)	Web	支部1
㉗福島県原子力災害医療対策協議会	12月25日(月)	書面開催	支部1
	8月9日(水)	Web	支部1
	11月1日(水)	Web	支部1
	12月25日(月)	書面開催	支部1

4 災害弔慰金の贈呈

火災並びに自然災害等による死亡者の遺族代表者に弔慰金10,000円を贈る。

	件 数	金 額
弔 慰 金	13件	150,000円



5 救援物資の配分

「支部災害救援物資取扱要綱」に基づき、以下のとおり配布した。

		前年度 繰 越	本社等 受 入	購 入	戻入等	被害者へ の配分	他支部へ の払出	転用等	本年度末 残 数
本 社	バス タ オ ル	1,931		1,000		205			2,726
	毛 布	5,649			121	145			5,625
	緊 急 セ ッ ト	3,325				270			3,055
	安 眠 セ ッ ト	502				30			472
	タオルケット	600				101			499

6 災害義援金（国内）受付状況（）内は累計

(令和6年3月31日現在)

義 援 金 名	件 数	金 額
①令和5年5月能登半島地震災害義援金	110件	1,193,431円
②令和5年台風第2号等大雨災害義援金	96件	238,464円
③令和5年6月30日からの大雨災害義援金	77件	183,642円
④令和5年7月7日からの大雨災害義援金	103件	1,088,669円
⑤令和5年台風第6号災害義援金	58件	104,035円
⑥令和5年台風第13号災害義援金	38件	966,885円
⑦令和6年能登半島地震災害義援金	651件	156,895,289円

7 赤十字防災ボランティアの養成

ア 福島県支部奉仕団合同災害救護訓練

防災支援奉仕団と地域奉仕団と共に災害時に活動できるよう「福島県支部奉仕団合同災害救護訓練」を県内持ち回りで開催している。新型コロナウイルス感染症の影響のため令和元年度以来の開催となった。

名 称	開 催 日	会 場	参 加 者(人)
福島県支部奉仕団合同災害救護訓練	8月5日(土)	河東農村環境改善センター	支部2、防災支援奉46、他域奉10、計58

イ 登録者数

防災ボランティアリーダー 8名

防災ボランティア地区リーダー 145名

8 救護資材

ア 県支部保有の主な救護資材

(令和6年3月31日)

資 材 名	支 部	病 院	地 区 分 区
移動式炊飯器	8組		338組
移動式炊飯器(灯油式)	2組		
医療セット		2組	
携帯用医療セット	1個		
携帯用救護力バン	2個	3個	
医療資器材携行用力バン	16個		
ノート型パソコン	2台	3台	
モバイルプリンター	3台		
プロジェクター	3台		

資 材 名	支 部	病 院	地 区 分 区
折りたたみいす	10台		
診察台	2台		
トリアージシート	1組	1組	
担架	24台		73台
ヘッドランプ	31台	6台	
災害救援用ハンドビーム	2台		
ランタン(15W)	4台	6台	
ランタンスタンド	4台	1台	
投光器	3台		20台



資材名	支部	病院	地区分区
移動発電機	10台		67台
蓄電池(大)	2台		
蓄電池(大)専用ソーラーパネル	2台		
蓄電池(小)	3台		
蓄電池(小)専用ソーラーパネル	3台		
モバイルバッテリー	2台		91台
天幕(3間×2間)	12張		7張
// (1.5間×2間)	4張		242張
エアーテント(4m×5m)	2張	1張	
// (6m×6m)	3張		
ワンタッチテント(3m×6m)	5張		310張
ドラッシュテント(フレームテント)XB	1張		
折りたたみ寝台	50台	40台	136台
担架ベッド	2台		
患者用毛布	50枚	50枚	
自動式ポータブルトイレ	10台		
携帯トイレ	3個		
トイレ用テント	11張		
ストップ	4台		
救護所用冷暖房機器	2台		
救護員作業衣(夏用)	20着	50着	
// (冬用)	20着	50着	
ヘルメット	25個	35個	203個
雨具	98着	25着	
防寒衣	16着		
防寒服(上・下)	30着		
救護員用Tシャツ	60着	135着	
全国救護員用Tシャツ	140着		
ダウンジャケット	25着	20着	
編上靴	52足	36足	
防じんゴーグル	12個	6個	
寝袋	25個		
キャンピングマット	27枚		
携行バッグ	20個	40個	
携行キャリーバッグ	16個	24個	
救護資材倉庫			203棟
ローラーコンベア(電動)	5台		
// (手動)	1台		

資材名	支部	病院	地区分区
救急車	1台	2台	
医療派遣用自動車	1台	1台	
災害救援車	8台	1台	112台
普通自動車	1台		
折りたたみ自転車	1台		
4折テーブル	4台		
折りたたみリヤカー	1台		
超短波無線機(157MHz)基地局	1局		
地上移動局(157MHz)	17局	5局	
超短波無線機(415MHz)基地局	1局		
地上移動局(415MHz)	18局	10局	
小電力トランシーバー	12台		
携帯電話・データ端末	8台		
衛星携帯電話	6台	5台	
// (可換型)	(3台)	(3台)	
// (車載)	(3台)	(2台)	
メガホン(拡声器)	8台		
携帯ラジオ	9台		
電子血圧計	1台		
医療セット置台	3台		
点滴スタンド	5台		
AED一式	4台		
AED(携帯用)一式	6台	1台	112台
災害救援活動用ベスト			245着
DMAT装備一式			1式
NBC災害対応除染セット一式			1式
防護服セット	58組		
デジタル個人線量計	38個	20個	
空間線量率測定用サーベイメータ			1台
身体汚染スクリーニング用GMサーベイメータ			1台
救護用ヒップバッグ	5個	15個	
反射チョッキ	40着	20着	
担架置台	5組		
救命胴衣	6着		24着
防災ボランティア雨具	50着		
アコーディオンスクリーン	2台		
折畳式ホワイトボード	1台		

イ 災害救護装備の充実

◎地区分区

災害救援物資の輸送等のため各地区・分区に120万円を上限に赤十字救援車購入の経費の一部を補助した。

赤十字救援車配置(助成)	4台	①福島市立子山分区 ②伊達市伊達分区 ③郡山市郡山分区 ④喜多方市熱塩加納分区
--------------	----	--

◎支部

支援災害対応力の強化のため、下記の救護資材等を整備した。

エアーテント	1式(本社財源)
冷暖房装置	1台(本社財源)
発電機	1台(本社財源)

災害救援車(更新)	1台
折りたたみ寝台	11台
バスタオル	1,000枚

2

救護看護師の養成

国際的な救護活動、高齢社会への適切な対応ができる優れた看護師を養成するため、赤十字理念を建学の精神としている日本赤十字看護大学等で学び、赤十字に対し深い理解と熱意をもつ学生に奨学金を貸与し、救護看護師を養成している。

① 奨学金貸与

学校名	1年	2年	3年	4年	計
日本赤十字秋田看護大学	1人	1人	3人	3人	8人
日本赤十字看護大学	—	—	—	—	—
日本赤十字北海道看護大学	—	1人	—	—	1人
合 計	1人	2人	3人	3人	9人

※奨学金貸与額：年間60万円（月額5万円）を上限として貸与している。

② 日本赤十字秋田看護大学 赤十字特別推薦

日本赤十字秋田看護大学に入学を希望し、福島赤十字病院に看護師として就職を希望する高校生を対象に選考会を行い、福島県支部長より推薦している。（令和5年度応募者なし）



戴帽式



日本赤十字秋田看護大学



3 救急法・健康生活支援講習等の普及

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、講習をとおして救急法等の普及に取り組んでいる。

当支部においても、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」の各講習を実施し、事故防止や人命を救う方法、健康で安全に暮らすための知識と技術の普及に努めている。

① 講習会の実施状況

ア 救急法

日常生活における事故防止の知識と、思わぬ事故や急病の人を医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当などの知識と技術を普及している。

心肺蘇生、AED（自動体外式除細動器）の使い方、気道異物除去の方法を学ぶ救急法基礎講習（4時間）を実施した。



講 習 種 別		実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
救 急 法	基礎講習 (4時間)	29	562	561	—
	救急員養成講習 (12時間)	16	297	—	292
	短期講習	178	5,644	—	—
	計	223	6,503	561	292

イ 水上安全法

水と親しみ水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、水の事故防止、溺れた人の救助、救命手当などの知識と技術を普及している。



講 習 種 別		実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
水上安全法	救助員養成Ⅰ (14時間)	1	22	22	22
	救助員養成Ⅱ (12時間)	—	—	—	—
	短期講習	35	2,313	—	—
	計	36	2,335	22	22

ウ 幼児安全法

幼児期に起こりやすい事故とその予防、万一事故が起きた場合の心肺蘇生法とAEDの使い方、気道異物除去など救命手当及び応急手当の仕方、かかりやすい病気と看病の仕方などの知



3 救急法・健康生活支援講習等の普及

識と技術を普及している。

短期講習「災害時の乳幼児支援」においては、バンダナ、レジ袋を使用したきずの手当てを行った。

講 習 種 別		実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
幼児安全法	支援員養成講習（12時間）	2	22	—	20
	短期講習	42	747	—	—
	計	44	769	20	20



幼児安全法



認知症サポーター養成講座

工 健康生活支援講習

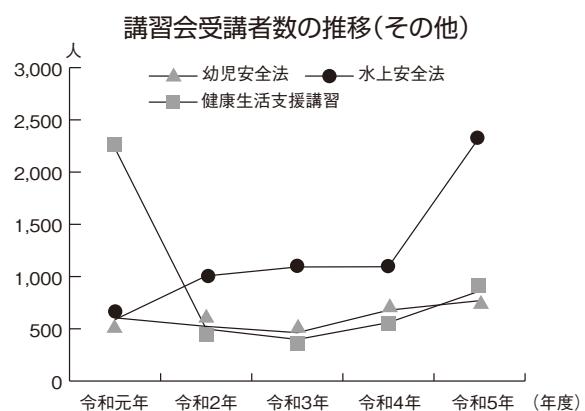
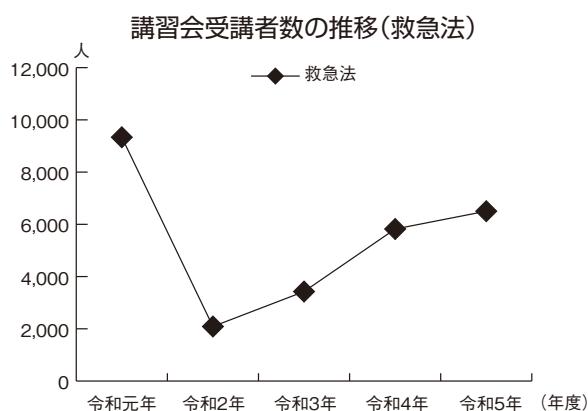
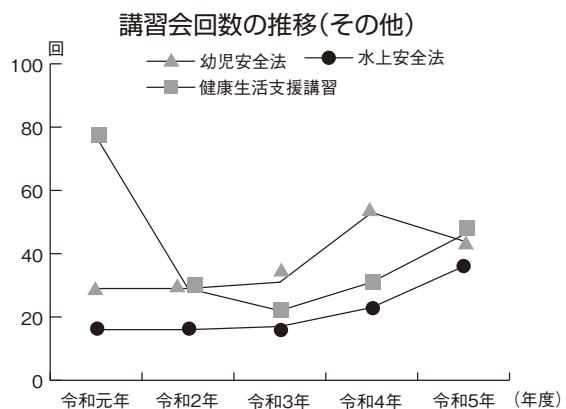
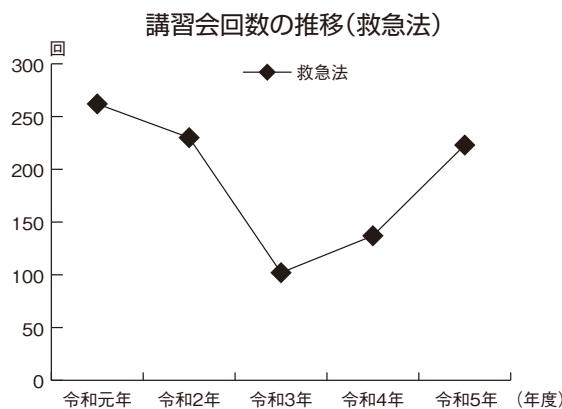
誰もが迎える高齢期を、すこやかに迎えるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援、自立に向け役立つ介護技術を普及している。

「認知症サポーター養成講座」は、福島市と共同開催し地域のボランティア活動につながることが期待される。

講 習 種 別		実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
健康生活支援講習 短 期	支援員養成講習（12時間）	5	46	43	43
	災害時高齢者生活支援講習	10	266	—	—
	認知症サポーター養成講座	11	125	125	125
	その他	20	424	—	—
計		46	861	168	168

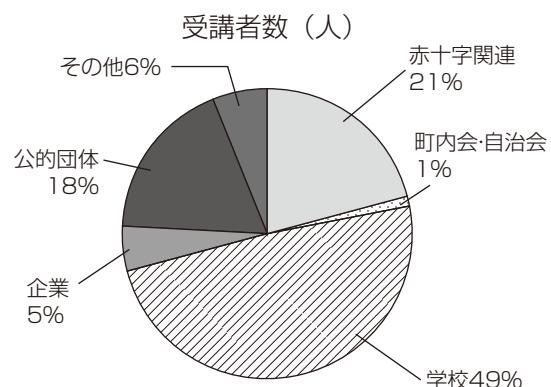
② 講習会の開催（合計）

講 習 種 別	実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
救 急 法	223	6,503	561	292
水 上 安 全 法	36	2,335	22	22
幼 児 安 全 法	44	769	20	20
健 康 生 活 支 援 講 習	46	861	168	168
計	349	10,468	771	502



③ 講習会受講者内訳

		受講者数(人)
赤十字関連		2,211
町内会・自治会		46
学校		5,154
企業		540
公的団体		1,904
その他の		613
計		10,468



④ 青少年赤十字（JRC）加盟校を対象とした救急法等講習会

対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・指導者協議会

内容：心肺蘇生・AEDについて短時間で学ぶ救急法短期講習から水の事故から身を守るための着衣泳等を開催した。

	開催数(回)	受講者(人)
小学校	43	1,110
中学校	17	1,157
高等学校	8	260
特別支援学校	2	111
指導者協議会	4	142
合計	74	2,780



JRC 加盟校を対象とした救急法等講習会



5 防災セミナー

本社における「赤十字防災教育プログラム」の普及推進方針を受け、「防災セミナー」として地域防災に役立つ知識や技術の普及を行った。

防災セミナー開催状況

内 容	回 数(回)	受講数(人)
災害への備え（講演）	33	2,167
災害エスノグラフィー	1	10
災害図上訓練（DIG）	5	158
避難所運営ゲーム（HUG）	13	928
災害時の応急手当	1	12
非常食作り	21	901
災害時シミュレーション	7	144
その他	12	598
合 計	93	4,918

※防災教室等で行った防災セミナーのメニューも含む

6 行事イベント（救急法等）健康まつり等への協力

行政、企業などが実施したイベントにブースを出し、防災思想の普及を図った。

8／26(土)	福島地方気象台「お天気フェア2023 ~楽しく学ぼう自然現象~今日からキミも防災マスター！」
9／23(土)	福島県「そなえる・ふくしま2023」
10／7(土)	福島県立博物館「伝える 災害の記憶」
11／11(土)	イオンモールいわき小名浜「いわき防災 EXPO」

7 会議・研修会

研 修 会 名	開 催 日	場 所	参 加 者(人)
①赤十字講習担当課長会議	4月27日(木)	Web	支部2
②赤十字講習新任担当者研修会	5月25日(木)～26日(金)	本社	支部1
③赤十字講習講師研究会	6月8日(木)～9日(金)	Web	支部1
④第1回水上安全法講師研究会	7月6日(木)～7日(金)	Web	支部1
⑤第1回赤十字講習推進委員会	8月24日(木)～25日(金)	本社	支部1
⑥水上安全法講師養成講習	10月16日(月)～18日(水)	さいたま市	支部1 (講師)
⑦第2回水上安全法講師研究会	12月4日(月)～5日(火)	さいたま市	支部1
⑧幼児安全法講師研修会	12月18日(月)～19日(火)	本社	病院1
⑨健康生活支援講習講師研修会	12月19日(火)～20日(水)	本社	病院1



研修会名	開催日	場所	参加者(人)
⑩赤十字救急法指導員養成講習	令和6年 1月9日(火)～11日(木) 22日(月)・29日(月)	福島県支部	支部2(講師) 支部5 センター3 ボランティア1
⑪救急法講師研修会	1月18日(木)～19日(金)	本社	能登半島地震対応のため中止
⑫水上安全法講師研修会	2月1日(木)～2日(金)	本社	能登半島地震対応のため中止
⑬救急法等指導員研修会	2月25日(日)～26日(月) 3月3日(日)	福島県支部	救急法等指導員

8 救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習指導員数

(令和6年3月31日現在)

講習会	ボランティア(人)			職員(人)			合計(人)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
救急法	48	33	81	12	5	17	60	38	98
水上安全法	13	2	15	2	0	2	15	2	17
幼児安全法	18	14	32	6	3	9	24	17	41
健康生活支援講習	2	14	16	0	10	10	2	24	26

9 救急法等講師名簿

各講習会の指導員を養成する指導員養成講習の指導者となる。

(令和6年3月31日現在)

講習会	氏名			
救急法	武田 玲子	久保 芳宏	石田 政幸	野崎 謙司
水上安全法	久保 芳宏	野崎 謙司		
幼児安全法	武田 玲子	車田 真美		
健康生活支援講習	武田 玲子	車田 真美	岩崎 瞳子	

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために結成された地域奉仕団、青年や学生の若い力を社会のために役立てようと結成された青年奉仕団、特技を活かして社会に奉仕する特殊奉仕団が、共通の理念にたってそれぞれの持ち味を活かした奉仕活動を実践している。

また、災害時には住民の立場になり奉仕活動を行うため、日頃から訓練を行って災害に備えている。



埼玉県杉戸町赤十字奉仕団との交流会
(富岡町赤十字奉仕団)



四倉保育所での防災教室
(四倉方部赤十字奉仕団)

① 結成状況

(令和6年3月31日現在)

奉仕団種別	団 数	構 成		
		男(名)	女(名)	計(名)
地域赤十字奉仕団	105	952	7,262	8,214
青年赤十字奉仕団	4	68	123	191
特殊赤十字奉仕団	34	979	211	1,190
計	143	1,999	7,596	9,595

② 福島県支部委員会

赤十字奉仕団福島県支部委員会は、方部赤十字奉仕団連絡協議会会長と特殊奉仕団から県賛助奉仕団委員長、県防災支援連絡協議会会長で構成し、福島県支部管内の各奉仕団の活動に関し情報交換を行うとともに、活動の推進に向けた協議及び連絡調整を行っている。

福島県支部委員会役員

役 員	氏 名	所 屬
委 員 長	佐原和佳子	喜多方市赤十字奉仕団委員長
副委員長	林 美枝子	須賀川市赤十字奉仕団委員長
副委員長	松田 貞夫	福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長

③ 方部赤十字奉仕団連絡協議会

方部名	令和5年度 方部会長奉仕団名	方部名	令和5年度 方部会長奉仕団名	方部名	令和5年度 方部会長奉仕団名
福島	飯坂町 赤十字奉仕団	須賀川・岩瀬	須賀川市 赤十字奉仕団	両沼	会津美里町高田 赤十字奉仕団
伊達	保原町 赤十字奉仕団	白河市	白河 赤十字奉仕団	南会津	南会津町伊南 赤十字奉仕団
安達	本宮市白沢 赤十字奉仕団	西白河	西郷村 赤十字奉仕団	いわき	内郷方部 赤十字奉仕団
郡山	富久山町 赤十字奉仕団	東白川	鮫川村 赤十字奉仕団	相馬	原町 赤十字奉仕団（暫定）
田村	三春町 赤十字奉仕団	会津若松	会津若松市 赤十字奉仕団	双葉	休止
田村市	大越町 赤十字奉仕団	北会津	河東 赤十字奉仕団	県賛助奉仕団	福島県委員長
石川	古殿町 赤十字奉仕団	喜多方・耶麻	喜多方市 赤十字奉仕団	県防災支援連協	河東防災支援無線 赤十字奉仕団

④ 赤十字奉仕団指導講師（8名）

(令和5年4月1日現在)

福島市	松田 貞夫	郡山市	安田 悠子
福島市	土屋 悅男	会津若松市	栗城 美保
福島市	佐藤 敦子	いわき市	飯間香保子
福島市	福地 敏教	相馬市	高橋 誠

⑤ 会議、研修会

名 称	開催日	会 場	参加者(人)
①第1回青年赤十字奉仕団全国協議会	5月13日(土)	WEB会議	青奉2
②奉仕団委員長会議	5月15日(月) ～16日(火)	郡山市	奉仕団員、指導講師、 支部職員
③奉仕団支部指導講師会議	5月15日(月)	郡山市	支部指導講師、支部職員
④奉仕団中央委員会	6月1日(木) ～2日(金)	本社 WEB	県委員長1
⑤青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月30日(金)	WEB	全国賛助顧問1 (オブザーバー)
⑥奉仕団担当者研修会	7月5日(水)	WEB	支部職員2
⑦全国賛助奉仕団協議会役員会・総会	7月11日(火) ～12日(水)	本社	全国賛助顧問1 賛助奉県委員長1
⑧第1ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	8月19日(土)	北海道支部	参加なし
⑨全国ボランティアリーダー研修	8月26日(土) ～28日(月)	東京都	青奉1
⑩第1ブロック奉仕団委員長・担当者会議	10月3日(火) ～4日(水)	青森県支部	支部職員1
⑪赤十字奉仕団中央委員会常任委員会	12月1日(金)	本社	県委員長
⑫赤十字奉仕団支部指導講師研修会	令和6年 1月26日(金) ～28日(日)	本社	指導講師1



4 赤十字奉仕団

名 称	開催日	会 場	参加者(人)
⑬支部奉仕団リーダー研修会	2月21日(水) ～22日(木)	須賀川市	県中奉仕団員14 指導講師2、支部職員2
⑭第2回青年赤十字奉仕団全国協議会	2月24日(土)	WEB	青奉1
⑮全国賛助奉仕団協議会第2回役員会	3月14日(木) ～15日(金)	本社	全国賛助顧問1
⑯奉仕団方部連絡協議会長会議	3月18日(月)	福島市	支部会長17

6 協 力

赤十字新聞発送作業協力（県北賛助奉仕団、日赤福島ボランティア会）

毎月2日間 延べ24日 313人

7 赤十字奉仕団研修会（講習会を除く）

赤十字奉仕団指導講師等の協力を得て、赤十字奉仕団の研修会を開催している。

赤十字奉仕団名	内 容	講師派遣人数(人)
桑折町赤十字奉仕団	炊き出し2、 防災教育プログラム1：いえまでごろく	指導講師1
国見町赤十字奉仕団	基礎研修3：赤十字奉仕団とは	指導講師2
飯野町赤十字奉仕団	炊き出し1・2	支部職員1
郡山市赤十字奉仕団	基礎研修1：赤十字とは	指導講師1
郡山市赤十字奉仕団	防災セミナー2：災害時の救急法	指導員1
郡山市赤十字奉仕団	防災セミナー1：災害時の備え	指導員1
大越町赤十字奉仕団	防災セミナー1：災害時の備え	指導員1
滝根町赤十字奉仕団	基礎研修3：赤十字奉仕団とは 防災セミナー2：災害時の救急法	指導講師1 指導員1
常葉町赤十字奉仕団	基礎研修3：赤十字奉仕団とは	支部職員1 指導講師1
玉川村赤十字奉仕団	防災セミナー1：災害時の備え 防災セミナー2：災害時の救急法	指導員1
平田村赤十字奉仕団	基礎研修3：赤十字奉仕団とは	支部職員1
石川町赤十字奉仕団	防災セミナー1：災害への備え	支部職員1
会津若松市赤十字奉仕団鶴城分団	基礎研修1：赤十字とは 基礎研修2：赤十字奉仕団とは	指導講師1
会津若松市赤十字奉仕団	防災セミナー3：災害時生活支援講習	指導員1
西会津町赤十字奉仕団	防災セミナー3：災害時生活支援講習	指導員1
柳津町赤十字奉仕団	基礎研修3：赤十字奉仕団とは	指導講師1
本郷赤十字奉仕団	炊き出し1・2	支部職員1
新鶴地区赤十字奉仕団	炊き出し1	支部職員1
三島町赤十字奉仕団	防災教育プログラム1：いえまでごろく	指導講師1
南会津町田島赤十字奉仕団	ブックレット研修	支部職員1

赤十字奉仕団名	内 容	講師派遣人数(人)
四倉方部赤十字奉仕団	基礎研修2：ジュネーブ条約と赤十字マーク	支部職員1
四倉方部赤十字奉仕団	防災教育プログラム1：いえままでごろく	指導講師1
四倉方部赤十字奉仕団	リーダー研修	指導講師1
原町赤十字奉仕団	基礎研修3：赤十字奉仕団とは	指導講師1
新地町赤十字奉仕団	防災教育プログラム1：いえままでごろく	指導講師1
石川方部赤十字奉仕団連絡協議会	防災教育プログラム1：いえままでごろく	指導講師1
両沼方部赤十字奉仕団連絡協議会	防災セミナー3：災害時生活支援講習	指導員1
いわき方部赤十字奉仕団連絡協議会	総会研修会	指導講師1
福島県あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう赤十字奉仕団	防災セミナー2：災害時の救急法 防災セミナー3：災害時健康生活支援講習	指導員1
福島県あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう赤十字奉仕団	炊き出し2、防災セミナー6：DIG、 防災セミナー7：HUG	支部職員1 指導員1
福島県あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう赤十字奉仕団	防災セミナー4：災害時の乳幼児支援 防災セミナー8：災害エスノグラフィー 炊き出し1	指導員2

⑧ 令和5年度赤十字ボランティアのつどい（第12回）

開 催 日	令和5年10月17日(火)
場 所	郡山市・ビッグパレットふくしま
参 加 者	赤十字奉仕団員、関係者 約400名
内 容	<p>1 表彰 奉仕団功労表彰、奉仕団員等奉仕者功労表彰 地元紙2紙に受章者名簿を掲載</p> <p>2 活動報告 富岡町赤十字奉仕団 委員長 石井 卓氏 福島県あん摩マッサージ・指圧・はり・きゅう赤十字奉仕団 委員長 平栗 辰也氏</p>



佐藤副支部長から表彰伝達



活動報告



⑨ 令和5年度赤十字奉仕団と団員数現況

(令和6年3月31日現在)

地域奉仕団

No	奉仕団名	男	女	計
1	飯野町	0	61	61
2	川俣町	0	180	180
3	平野(たんぽぼうし団)	0	40	40
4	飯坂	0	91	91
5	湯野	0	60	60
6	福島希望	2	20	22
7	吉井田	0	7	7
8	北信(マロニエの会)	0	24	24
9	伊達	5	31	36
10	保原町	6	210	216
11	梁川町	0	8	8
12	月館町	0	176	176
13	靈山町	0	54	54
14	桑折町	1	39	40
15	国見町	500	1,500	2,000
16	大玉村	0	32	32
17	二本松市東和	0	81	81
18	二本松市	0	33	33
19	安達	0	39	39
20	二本松市岩代	0	30	30
21	本宮市本宮	3	73	76
22	本宮市白沢	1	52	53
23	郡山市	8	23	31
24	田村町	0	71	71
25	日和田町	1	28	29
26	富久山町	3	31	34
27	須賀川市	18	149	167
28	鏡石町	0	23	23
29	天栄村	6	25	31
30	三春町	0	38	38
31	小野町(すみれ会)	0	32	32
32	都路町	0	48	48
33	船引町	0	41	41
34	大越町	14	15	29
35	滝根町	0	31	31
36	常葉町	11	28	39
37	浅川町	2	21	23
38	玉川村	2	60	62
39	平田村	7	8	15
40	古殿町	2	28	30
41	石川町	4	26	30
42	白河	85	25	110
43	大信	2	57	59
44	白河市表郷	8	14	22
45	ひがし	4	3	7
46	三神	0	22	22
47	矢吹町	0	37	37
48	中畠	0	42	42
49	泉崎村	0	101	101
50	西郷村	0	171	171
51	中島村	0	19	19
52	棚倉町	0	53	53

No	奉仕団名	男	女	計
53	矢祭町	0	40	40
54	墙町	5	163	168
55	鮫川村	6	44	50
56	会津若松市	57	538	595
57	西会津	0	39	39
58	山都町	19	38	57
59	喜多方市	0	42	42
60	高郷町	0	30	30
61	塩川町	5	17	22
62	熱塩加納町	27	39	66
63	北塩原村	21	38	59
64	会津坂下町	8	48	56
65	柳津町(ひまわり会)	2	49	51
66	湯川村	0	18	18
67	会津美里町本郷	17	29	46
68	会津美里町高田	1	41	42
69	新鶴地区	0	30	30
70	金山町	0	36	36
71	昭和村	0	29	29
72	三島町	0	28	28
73	北会津	4	32	36
74	猪苗代町	20	14	34
75	磐梯町	2	27	29
76	河東町	2	24	26
77	南会津町田島	3	146	149
78	只見町(ともしひ会)	0	157	157
79	下郷町	0	43	43
80	檜枝岐村	0	20	20
81	南会津町南郷	1	0	1
82	南会津町鎌岩	13	9	22
83	南会津町伊南	11	18	29
84	平方部	3	155	158
85	内郷方部	0	88	88
86	常磐方部	0	35	35
87	小名浜方部	0	150	150
88	勿来方部	0	102	102
89	いわき市四倉方部	0	118	118
90	いわき市遠野方部	0	122	122
91	好間地域	0	36	36
92	原町	1	43	44
93	鹿島	0	53	53
94	小高	2	18	20
95	相馬市	0	29	29
96	新地町	0	108	108
97	飯館村	1	13	14
98	大熊町	休団中		
99	広野町	3	31	34
100	川内村	0	150	150
101	浪江町	3	24	27
102	富岡町	17	32	49
103	双葉町	休団中		
104	楢葉町	休団中		
105	葛尾村	3	18	21
	計①	952	7,262	8,214

青年奉仕団

No	奉仕団名	男	女	計
1	福島県立医科大学学生	14	72	86
2	福島青年	24	15	39
3	福島学院大学	19	32	51
4	日本大学工学部	11	4	15
	計②	68	123	191

特殊奉仕団

No	奉仕団名	男	女	計
1	福島県赤十字安全	58	32	90
2	福島赤十字語学	2	0	2
3	いわき芸能	3	10	13
4	福島赤十字病院	3	11	14
5	日赤福島ボランティア会	24	23	47
6	会津若松市赤十字防災ボランティア	6	28	34
7	福島県あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう	21	7	28
8	県北地区賛助	114	29	143
9	県中地区賛助	165	19	184
10	県南地区賛助	139	16	155
11	会津地区賛助	106	7	113
12	いわき地区賛助	26	7	33
13	相双地区賛助	113	8	121
	計③	780	197	977

特殊奉仕団(アマ無線・防災支援奉仕団)

No	奉仕団名	男	女	計
1	福島アマ無線	21	1	22
2	会津アマ無線	8	0	8
3	表郷防災支援	10	0	10
4	矢吹アマ無線	6	0	6
5	下郷町アマ無線	17	0	17
6	白沢アマ無線(雪鳥/ムクラブ)	8	1	9
7	安達防災支援	2	0	2
8	郡山アマ無線	9	1	10
9	広野町アマ無線	14	2	16
10	田村市大越アマ無線	2	0	2
11	勿来アマ無線防災支援	5	1	6
12	白河アマ無線	12	1	13
13	石川町アマ無線	13	0	13
14	大玉アマ無線	10	3	13
15	いわきアマ無線	2	1	3
16	二本松防災支援	11	0	11
17	小高アマ無線	8	0	8
18	飯館アマ無線	6	0	6
19	河東防災支援無線	16	1	17
20	岩代アマ無線	4	0	4
21	北会津防災支援	15	2	17
	計④	199	14	213
合計①～④				
		1,999	7,596	9,595

5

青少年赤十字（JRC）の育成

青少年が赤十字の精神に基づき、「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の実践活動を通して、社会に貢献できる人間の育成を目指し、小・中・高等学校に組織され、学校教育の一環として活動を進めている。（JRC：Junior Red Cross）

① 加盟学校数とメンバー数

（令和6年3月31日現在）

	学校数(校)	メンバー数(名)	県内加盟率(%)
幼稚園	16	357	—
小学校	383	67,455	98.2
中学校	204	38,834	96.2
高等学校	32	3,890	33.0
特別支援学校	5	375	19.2
義務教育学校	7	1,185	100.0
計	647	112,096	86.2

※計の県内加盟率は幼稚園を除く



② 青少年赤十字地区指導者協議会別加盟校数・メンバー数

【幼稚園】

地区名	園数	男	女	計	指導者数
福島	11	137	125	262	58
西白河	1	22	23	45	10
相馬	4	34	16	50	24
計	16	193	164	357	92

【小学校】

地区名	学校数	男	女	計	指導者数
福島	46	5,558	5,374	10,932	823
伊達	17	1,638	1,620	3,258	153
安達	25	1,918	1,742	3,660	339
郡山	52	6,449	6,125	12,574	904
岩瀬	21	1,920	1,776	3,696	340
石川	8	800	729	1,529	128
田村	14	1,326	1,302	2,628	210
西白河	26	2,342	2,358	4,700	423
東白川	8	684	683	1,367	120
会津若松・北会津	26	1,180	1,352	2,532	147
耶麻	20	639	670	1,309	200
両沼	14	712	599	1,311	149
南会津	14	329	364	693	53
相馬	24	1,718	1,621	3,339	390
双葉	7	194	207	401	80
いわき	61	6,887	6,639	13,526	1,153
計	383	34,294	33,161	67,455	5,612



【中学校】

地区名	学校数	男	女	計	指導者数
福島	23	3,587	3,290	6,877	521
伊達	8	824	844	1,668	159
安達	11	1,195	1,135	2,330	221
郡山	26	3,853	3,664	7,517	505
岩瀬	11	1,147	1,117	2,264	212
石川	5	482	479	961	94
田村	9	672	675	1,347	123
西白河	14	1,121	1,094	2,215	278
東白川	4	399	392	791	83
会津若松・北会津	13	1,536	1,395	2,931	218
耶麻	10	293	212	505	151
両沼	9	486	446	932	52
南会津	7	274	239	513	79
相馬	11	1,110	1,054	2,164	229
双葉	6	148	77	225	70
いわき	37	2,891	2,703	5,594	435
計	204	20,018	18,816	38,834	3,430

【高等学校】

地区名	学校数	男	女	計	指導者数
県北	7	112	167	279	33
県南	15	1,277	1,554	2,831	182
会津	4	269	384	653	6
いわき・相双	6	58	69	127	16
計	32	1,716	2,174	3,890	237

【特別支援学校】

地区名	学校数	男	女	計	指導者数
県北	1	36	15	51	23
県南	3	182	132	314	175
いわき・相双	1	7	3	10	4
計	5	225	150	375	202

【義務教育学校】

地区名	学校数	男	女	計	指導者数
郡山	2	212	196	408	62
岩瀬	1	134	126	260	21
会津若松・北会津	1	192	161	353	24
相馬	1	40	42	82	28
双葉	2	39	43	82	47
計	7	617	568	1,185	182



【学校別】

区分	学校数	男	女	計	指導者数	県内の状況（令和5年度）				※ ¹ 全国の状況（令和5年度）	
						学校加盟率（%）	児童生徒加入率（%）	※ ² 全学校数（校）	※ ² 全児童生徒数（人）	学校加盟率（%）	児童生徒加入率（%）
幼稚園	16	193	164	357	92	△△△	△△△	△△△	△△△	△△△	△△△
小学校	383	34,294	33,161	67,455	5,612	98.2	80.9	390	83,340	37.4	31.6
中学校	204	20,018	18,816	38,834	3,430	96.2	87.8	212	44,224	34.8	30.5
高等学校	32	1,716	2,174	3,890	237	33.0	9.1	97	42,668	36.2	12.2
特別支援学校	5	225	150	375	202	19.2	15.3	26	2,447	18.8	15.0
義務教育学校	7	617	568	1,185	182	100.0	86.2	7	1,374	40.6	27.7
計	647	57,063	55,033	112,096	9,755	86.2	64.2	732	174,053	35.9	26.5

※1 日本赤十字社青少年ボランティア課 資料から抜粋

※2 福島県企画調整部統計課編「令和5年度学校基本調査速報」から抜粋

③ 青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の振興を目的に、加盟校の中から小・中各1校を研究推進校に指定している。指定校は、3年間にわたり研究推進に取り組み、3年目に指導者研修会と学校公開で研究内容を発表する。

◎令和4～6年度

須賀川市立第三小学校・須賀川市立第三中学校



④ 令和5年度青少年赤十字福島県指導者協議会役員

役職名	氏名	学校名
会長	鶴原 理	福島市立福島第一小学校
副会長	丹伊田伸哉	郡山市立安積第三小学校
副会長	阿部 浩幸	天栄村立大里小学校
副会長	遠藤 利晴	福島県立会津学鳳高等学校

役職名	氏名	学校名
監事	園部 毅	西会津町立西会津中学校
監事	山田 徹	相馬市立八幡小学校
監事	松原 光	学校法人松韻学園福島高等学校

⑤ 令和5年度 各地区指導者協議会長

地区名	氏名	学校名
福島	鶴原 理	福島市立福島第一小学校
伊達	齋藤 貴恵	桑折町立睦合小学校
安達	相沢 周	二本松市立大平小学校
郡山	丹伊田伸哉	郡山市立安積第三小学校
小中事務局校	坂牧 広文	郡山市立大槻小学校
岩瀬	阿部 浩幸	天栄村立大里小学校
石川	石塚 隆広	石川町立野木沢小学校

地区名	氏名	学校名
田村	高橋 政喜	田村市立美山小学校
西白河	佐藤 康二	白河市立表郷小学校
東白川	安部 孝	矢祭町立矢祭中学校
会津若松・北会津	武藤 盛男	猪苗代町立緑小学校
耶麻	園部 毅	西会津町立西会津中学校
両沼	長澤 敏行	三島町立三島学校
南会津	伊藤 武徳	南会津町立館岩小学校



地区名	氏 名	学 校 名
相 馬	山田 徹	相馬市立八幡小学校
双 葉	武内 雅之	富岡町立富岡小学校
い わ き	粥塚 保則	いわき市立磐崎小学校
県 高 校	遠藤 利晴	福島県立会津学鳳高等学校

地区名	氏 名	学 校 名
県 北	松原 光	松韻学園福島高等学校
県 南	渡邊 亮	福島県立田村高等学校
会 津	尾形 幸男	福島県立葵高等学校
いわき・相双	長南 国彦	福島県立平工業高等学校

⑥ 会議、研修会

名 称	開 催 日	会 場	参加者等
① JRC 担当者会議	4月6日(木)	福島県支部	Web 会議
② JRC 県指導者協議会総会・研修会（第1回）	5月11日(木)	福島県支部	各地区会長
③青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター指導者養成講習会	5月26日(金)～28日(日)	国立オリンピック記念 青少年総合センター	教員・職員
④県高校指導者協議会総会	6月2日(金)	けんしん郡山文化センター	高校 JRC 担当教諭
⑤県高等学校 JRC 連絡協議会春季総会	6月2日(金)	けんしん郡山文化センター	高校生メンバー・教諭
⑥全国青少年赤十字指導者協議会総会	6月30日(金)	本社	指導者協議会副会長
⑦県高校リーダーシップ・トレーニングセンター	7月6日(木)～8日(土)	磐梯青少年交流の家	高校生メンバー・教諭
⑧県青少年赤十字福島県指導者講習会	8月3日(木)～4日(金)	郡山市青少年会館	教員
⑨第1ブロック支部青少年赤十字高校生メンバー交流事業	9月30日(土)～10月1日(日)	ウエディングエルティ	高校生メンバー・教諭
⑩第1ブロック青少年赤十字指導者研修会	10月3日(火)～4日(水)	秋田メトロポリタン	指導者協議会副会長
⑪青少年赤十字福島県指導者研修会・講演会	10月6日(金)	郡山市商工会議所	教員等
⑫JRC 県指導者協議会総会・研修会（第2回）	11月9日(木)	福島県支部	Web 会議 各地区会長
⑬県高等学校 JRC 連絡協議会秋季総会・県大会	11月10日(金)～11日(土)	ゆとりろ磐梯熱海	高校生メンバー・教諭
⑭福島・栃木 高校生メンバー交流会	11月11日(土)	震災伝承みらい館	高校生メンバー・教諭
⑮国際交流事業（海外メンバー受入れ）	11月18日(土)～22日(水)	福島市・会津若松市ほか	海外メンバー・高校生メンバー・教諭
⑯国際交流事業（国際交流集会）	11月23日(木)～26日(日)	国立オリンピック記念 青少年総合センター	高校生メンバー・教諭
⑰青少年赤十字研究会（指導主事対象）	1月12日(金)	本社	指導主事等
⑱JRC 県指導者協議会役員会	2月8日(木)	福島県支部	Web 開催
⑲JRC スタディー・センター	3月22日(金)～26日(火)	山中湖村東照館	高校生メンバー・教諭

⑦ 県内リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

リーダーシップ・トレーニング・センターは、青少年赤十字の教育プログラムのひとつであり、集団生活を伴う学習活動の場で赤十字と青少年赤十字について理解を深めるとともに、リーダーとして活躍できる児童・生徒の育成を目指している。

【小中】

福島・伊達・安達（7月、桑折町イコーゼ） 郡山（7月、郡山市中央公民館） 西白河・東白川（7月、表郷小） 北会津・会津若松（7月、磐梯青少年交流の家） 耶麻（8月、会津自然の家） 両沼（8月、会津自然の家）



【高校】

県高校（7月、磐梯青少年交流の家） 県北（7月、日赤県支部）

県南（8月、郡山市青少年会館） いわき・相双（8月、いわき市生涯学習センター）

⑧ 指導者研修会・講習会等の開催

地区	開 催 日	内 容	会 場	参 加 人 数	主 な 内 容 等
福 島	4月27日(木)	総会・研修会	福島一小	66名	総会文書審議・研修会
伊 達	4月26日(水)	総会・研修会	睦合小学校	25名	総会文書審議・研修会
安 達	4月7日(金)	総会	安達公民館	36名	総会文書審議
福 島 伊 達 安 達	7月28日(金)	指導者講習会	桑折町イコーデ	20名	
郡 山	4月7日(金)	総会	安積総合学習センター	76名	総会文書審議
岩 瀬	5月12日(金)	総会・研修会	大東公民館	32名	総会文書審議・研修会
石 川	6月5日(月)	総会・研修会	野木沢小	14名	総会文書審議・研修会
田 村	5月1日(月)	総会	船引公民館	23名	総会文書審議
//	6月13日(火)	指導者講習会	船引公民館	15名	研修会
西 白 河	4月4日(火)	総会・研修会	表郷小	40名	総会文書審議・研修会
//	7月26日(水)	指導者研修会	表郷小	20名	研修会
東 白 川	4月4日(火)	総会・研修会	表郷小	12名	総会文書審議
//	7月26日(水)	指導者研修会	表郷小	12名	研修会
会津若松・北会津	5月8日(月)	総会・研修会	河東学園	41名	総会文書審議・研修会
//	7月31日(月)	指導者講習会	磐梯青少年交流の家	15名	研修会
耶 麻	4月7日(金)	総会	喜多方一小	30名	総会文書審議
両 沼	4月7日(金)	総会	高田小	23名	総会文書審議
//	8月2日(水)	指導者講習会	会津自然の家	12名	研修会
南 会 津	4月7日(金)	総会	御蔵入交流館	21名	総会文書審議
//	8月7日(月)	指導者講習会	御蔵入交流館	15名	研修会
相 馬	4月24日(月)	総会・研修会	相馬市民会館	35名	総会文書審議・研修会
い わ き	5月23日(火)	総会	磐崎小	105名	総会文書審議
県 高 等 学 校	6月2日(金)	総会・研修会	けんしん郡山文化センター	69名	総会文書審議・研修会
//	8月9日(水)	臨時総会	血液センター	21名	総会文書審議
県 高 校	5月9日(火)	総会	血液センター	25名	総会文書審議
//	6月17日(土)	講習会	成蹊高校	49名	研修会
県 高 南 校	6月21日(水)	総会・研修会	田村高校	29名	総会文書審議・研修会
会 高 津 校	5月30日(火)	総会	葵高校	4名	総会文書審議
いわき相双高 校	4月17日(月)	総会・研修会	平工業高校	38名	総会文書審議・研修会



⑨ 福島県青少年赤十字賛助奉仕団

「賛助奉仕団」とは、小・中・高等学校で青少年赤十字活動の指導にあたっていた元教員が、青少年赤十字の普及発展に寄与することを目的に活動しているボランティア組織である。

ア 団員数 6地区 合計 759名（令和5年8月1日）

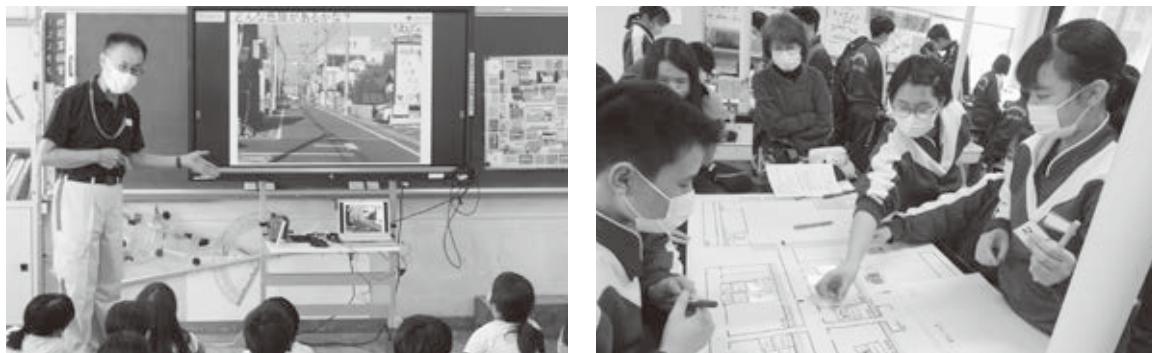
県 北	144名	県 中	189名	県 南	154名
会 津	117名	いわき	35名	相 双	120名

イ 会議等

会 議 名	場 所	参 加 者	開 催 日
①県賛助奉仕団総会	日赤県支部	各地区代議員	5月30日(火)
②全国賛助奉仕団協議会役員会・総会	日赤本社	全国役員、県委員長等	7月10日(月)、11日(火)
③青少年赤十字100文字作品審査協力	日赤県支部	団員	9月～12月
④NHK 海外たすけあい街頭募金	県内主要市	団員	12月
⑤全国賛助奉仕団協議会役員会	日赤県支部	全国役員、県委員長等	3月12日(火)、13日(水)

⑩ 青少年赤十字防災教育プログラムの普及

ア 地域奉仕団・賛助奉仕団と連携し、県内青少年赤十字加盟校や各地区関係機関への周知・啓発を図った。



イ 防災教室実施状況（児童・生徒向け防災教育プログラム）

開 催 日	対 象	内 容	参加人数(人)
1 5月15日(月)	仙台市立郡山中学校 (於：休暇村裏磐梯)	・裏磐梯ゆかりの地について ・ハイゼックス炊飯	児童生徒231・教員等14
2 5月24日(水)	相馬市立向陽中学校	・竹ひごタワー	児童生徒122・教員等9
3 7月11日(火)	伊達市立伊達東小学校	・自分だったらどうする ・いえままでごろく	児童生徒107・教員等9
4 7月12日(水)	いわき市立四倉保育所	・きけんはっけん	児童生徒48・教員等14
5 7月28日(金)	高教研家庭科部会	・自分だったらどうする	教員等90
6 7月31日(月)	郡山地区指導者協議会 (郡山市中央公民館)	・竹ひごタワー ・ドローイングチャレンジ	児童生徒50・教員等12
7 8月30日(水)	相馬市立山上小学校	・非常食体験 ・災害時シミュレーション	児童生徒7・教員等11



開催日		対象	内容	参加人数(人)
8	9月1日(金)	いわき市立小名浜第一小学校	・いえまですごろく ・防災グッズ作り	児童生徒47・教員等3
9	9月9日(土)	いわき市立錦公民館	※豪雨被害のため中止	
10	9月12日(火)	相馬市立向陽中学校	・避難所運営ゲーム (HUG)	児童生徒122・教員等8
11	9月13日(水)	福島市立福島第一小学校	・竹ひごタワー	児童生徒90・教員等15
12	9月20日(水) 21日(木)	いわき市立江名中学校	・竹ひごタワー ・自分だったらどうする ・ハイゼックス炊飯 ・応急手当 ・急救法 ・避難所運営ゲーム (HUG)	児童生徒46・教員等5
13	10月7日(土)	いわき市立小川公民館	・きけんはっけん ・竹ひごタワー	児童生徒24・教員等10
14	10月17日(火)	古殿町立古殿中学校	・災害への備え ・防災グッズ作り ・災害時シミュレーション	児童生徒97・教員等8
15	11月8日(水)	須賀川市立仁井田小学校	・竹ひごタワー ・非常食体験	児童生徒37・教員等3
16	11月18日(土)	相馬市教育委員会 「そうまジュニア防災マスター」	・非常食体験 ・いえまですごろく ・応急手当	児童生徒27・教員等24
17	11月22日(水)	二本松市社会福祉協議会 (小中学校教員向研修)	・竹ひごタワー ・ドローイングチャレンジ ・自分だったらどうする	教員等18
18	令和6年 2月9日(金)	二本松市立二本松第二中学校	・竹ひごタワー ・いえまですごろく ・避難所運営ゲーム (HUG)	児童生徒132・教員等5
19	3月11日(月)	棚倉町立近津小学校	・災害時シミュレーション ・救援物資を運べ ・自分だったらどうする	児童生徒108・教員等15



⑪ 青少年赤十字 詩・100文字提案作品募集

青少年赤十字加盟校の児童生徒を対象にテーマを設け、「気づき、考え、実行したこと、しようとしたこと」を詩や100文字に表現した作品の募集を行っている。

ア 募集期間 令和5年4月1日～令和5年9月6日

イ 募集テーマ 詩 「いのちの詩・愛の詩」

100文字提案

「わたしがだれかのためにできること」

「世界の見知らぬ友へ」

「わたしの夢・福島の未来」

ウ 応募校数・応募点数 42校 2,812点

エ 作品審査会(最終) 令和5年11月6日(月)

場所：日本赤十字社福島県支部

オ 入賞作品 支部長賞 4点

県指導者協議会長賞 1点

県賛助奉仕団委員長賞 1点

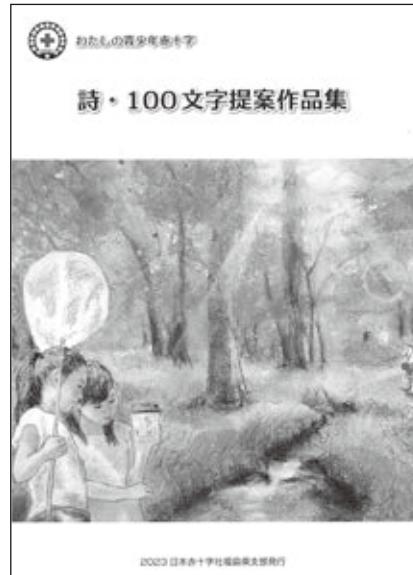
学校賞 6校

学校奨励賞 5校

優秀賞 13点

佳作 87点

入選 175点



カ 最優秀作品表彰式 令和5年12月25日(月) 日赤福島県支部

⑫ 青少年赤十字国際交流事業

青少年赤十字の実践目標のひとつである「国際理解・親善」の具体的な事業として、本県の青少年赤十字メンバーを海外の赤十字加盟国へ派遣したり、海外の赤十字メンバーの受け入れを行ったりしている。

ア 福島県支部主催 令和5年度青少年赤十字国際交流事業

参加メンバー タイ赤十字社 高校生メンバー 1名

福島県高校生 JRC メンバー 122名

実施期間 令和5年11月18日(土)～11月22日(水)

内 容 ・加盟校訪問（福島東高校・会津学鳳高校・松韻学園福島高校）

授業参加、部活動参加（JRC、書道、空手、相撲）



・コミュタン福島での研修、野口記念館見学 など

イ 日本赤十字社本社主催 令和5年度青少年赤十字国際交流集会

福島県高校生メンバー参加者 2名

開催期間 令和5年11月23日(木)～11月26日(日)3泊4日

開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

内 容 持続可能な未来に向けた青少年赤十字活動というテーマのもと、特に気候変動と平和教育について、自分たちが属する国や地域でどのようにリーダーシップを発揮できるか交流を通して学んだ。

ウ 青少年赤十字活動資金

青少年赤十字メンバー及び賛助奉仕団から「青少年赤十字一円玉募金」への活動資金の寄託があった。

前年度繰越額	本年度寄託額	本年度使用額	本年度日赤本社送金額	本年度末残高
0円	35,342円	0円	35,342円	0円

13 県支部主催 第1ブロック支部青少年赤十字高校生メンバー交流会の開催

9月30日(土)～10月1日(日)、北海道・東北地区の高校生が来県し交流を図った。2日目とも福島市の「ウエディングエルティ」を会場に実施した。日本赤十字国際人道研究センター副所長の角田敦彦氏を招聘し国際人道法について研修した。その後、グループワークを通して高校生として国際人道法をどのように普及していくか話し合った。



14 青少年赤十字活動への関心を広げるための啓発

次の広報誌等を加盟校に配付し、今後の青少年赤十字活動の推進・充実につながるよう啓発した。

- ・「うつくしま JRC フォトニュース」 年3回発行（6月・10月・2月）
- ・「JRC ふくしま」 年2回発行（10月・2月）

6 社会福祉活動

① 高齢者福祉対策事業

高齢者作品展示会支部長顕彰

41地区・分区で開催

② 保健衛生事業

○赤十字健康講演会

開催日	会場	講師	演題	参加人数
6月27日(火)	昭和村 昭和村公民館	福島赤十字病院 薬剤部 薬剤師	正しい薬の知識	52
7月28日(金)	白河市 白河市役所	福島赤十字病院 事務部健診課保健師	これからも元気で過ごすための 生活の工夫と運動	24
9月19日(火)	伊達市 保原中央交流館	福島赤十字病院 皮膚・排泄ケア認定看護師	スキンケアについて	48
11月17日(金)	南相馬市 原町区福祉会館	福島赤十字病院 呼吸器外科 医師	肺がんについて	39

③ 地域高齢者生活支援活動

○にこにこ健康教室

開催日	赤十字奉仕団名	会場	参加人数
7月15日(土)	小高赤十字奉仕団	南相馬市 角間沢集落センター	25
9月15日(金)	飯野町赤十字奉仕団	福島市 飯野学習センター	17
11月15日(水)	鏡石町赤十字奉仕団	鏡石町 鏡田転作センター	25

④ 会議・研修会

名 称	開 催 日	場 所	参 加 人 数
①地域包括ケアシステム市町村担当者会議	5月11日(木)	Web	支部 1
②地域包括ケア担当者会議	5月30日(火)	Web	支部 1
③地域包括ケア担当者会議	10月31日(火) 11月1日(水)	日本赤十字社幹部 看護師研修センター	支部 1

7

国際活動

日本赤十字社は、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟および各国赤十字・赤新月社と連携しつつ、様々な国際活動を行っている。

① 第1ブロック支部による国際活動への参加

第1ブロック（北海道・東北6県）の各支部では、資金を拠出し、国際活動に参加しており、下記の救急法普及支援事業や青少年赤十字海外支援事業を推進している。

第一ブロック国際活動参加費		総額	福島県支部の拠出額
救急法普及支援事業	ラオス	1,500,000円	230,000円
青少年赤十字海外支援事業	バヌアツ	1,500,000円	230,000円
気候変動等レジリエンス強化事業	ルワンダ	1,500,000円	230,000円
気候変動対策事業	アフガニスタン	1,500,000円	230,000円
合計		6,000,000円	920,000円

② 救援金受付状況（福島県支部取扱分）

救援金名	件数	金額
①無指定海外救援金	0	0円
②中東人道危機救援金（平成27年度から累計）	0 (28)	0円 (343,540円)
③バングラデシュ南部避難民救援金	0	0円
④アフガニスタン人道危機救援金	1	31,036円
⑤ウクライナ人道危機救援金	30	543,772円
⑥2023年トルコ・シリア地震救援金	46	3,202,006円
⑦2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	6	56,774円
⑧2023年モロッコ地震救援金	5	277,471円
⑨2023年リビア洪水救援金	3	213,629円
⑩2023年アフガニスタン地震救援金	3	34,291円
⑪イスラエル・ガザ人道危機救援金	9	127,854円



③ NHK 海外たすけあいキャンペーン（12月1日～25日）

【福島県支部実績】

全 体	906件	10,723,821円
(内訳) 支部受付	348件	2,820,851円
本社扱郵便為替	558件	7,902,970円

街頭募金 8市10会場 275,774円

(福島市、郡山市、白河市2会場、会津若松市2会場、南相馬市、相馬市、いわき市、喜多方市)

④ 安否調査

日本赤十字社は、赤十字国際委員会を中心に、世界191カ国に組織されている各国赤十字・赤新月社との連携によって紛争や災害により行方不明になった家族の消息および安否の調査を行っている。

◎令和5年度 依頼なし

8 広報

社旨普及の広報活動は、赤十字の重要な業務であり、あらゆる機会に「人道・博愛」の精神の普及啓発に努めている。

また、この活動は、赤十字関係者に対する社業推進の状況報告を意味するとともに、広く県民に対する協力支持を要請する啓発活動であり、5月8日の世界赤十字デー、5月の赤十字運動月間を中心に展開している。

本年度の社旨普及、広報活動及び主な刊行物は次のとおり。

① 日赤本社刊行物の配布

赤十字 NEWS (毎月1日発行)	25,000部
会員誌「Cross com-BOOK」(年2回発行)	6,238部
青少年赤十字指導情報	2,400部
青少年赤十字機関誌(小)	1,400部
青少年赤十字機関誌(中・高)	1,200部
赤十字この1年(DVD)	

② 支部発行物の作成配布

ア 社員増強用資料

赤十字社員加入と募集の手引き	25,000部
赤十字のしおり(Q&A)	8,000部
赤十字社員増強運動用チラシ	680,000部
日赤福島県支部広報紙「日赤ふくしま」第48号	370,000部

イ JRC用資料

青少年赤十字活動4つの勧め	3,000枚
うつくしまJRCフォトニュース第63号・64号・65号	各2,100枚
JRCふくしま(青少年赤十字福島県指導者協議会発行)第70号	1,800部
//	第71号 1,800部
わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集	3,000部

③ ホームページ等の開設

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/fukushima>
(平成14年3月20日開設、令和3年4月1日
リニューアル・URL変更)



インスタグラム

<https://www.instagram.com/nissekifukushima>
(平成29年12月1日開設)



X (旧ツイッター) <https://x.com/Nisseki07>
(平成29年12月1日開設)



フェイスブック <https://m.facebook.com/100064439812413/>
(平成29年12月1日開設)



④ 新聞・テレビ・ラジオ広報

- ア 新聞広告（福島民報社・福島民友新聞社）防災月間（9月）
 - イ 本社製作テレビ CM（FTV・FCT・KFB・TUF） 赤十字運動月間（5月）
テレビ局におけるパブリシティの実施（KFB）
 - ウ ラジオ広告（ラジオ福島）
ラジオ福島「命を守るキャンペーン～ふくしまゼロアクション～」協賛
ラジオスポット 20秒×50回（年間）

令和5年度赤十字社員増強運動用チラシ

支部広報紙「日赤ふくしま」第48号

9

医療事業

日本赤十字社の病院は、赤十字社の使命を達成するため、(1)災害時における医療救護 (2)巡回診療その他の地域福祉活動 (3)保健活動 (4)一般診療等の事業を行っている。

福島赤十字病院は、地域社会の公的医療機関としての役割の他、救急病院、地域災害医療センター、福島県原子力災害拠点病院として指定され、また、医師の臨床研修及び看護師の養成にも協力している。

① 医療施設

福島赤十字病院（福島県福島市八島町7番7号）



② 診療科（25科）

内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ膠原病内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科

③ 病床数と職員数

許可病床数 296床 [一般 268床 HCU 12床 感染症 6床 精神 10床]

職員数 594名 [医師 71名 (研修医17名含む) 看護師 302名 医療技術員
101名 その他 120名]

④ 患者数

	外 来			入 院		
	令和5年度(人)	令和4年度(人)	前年度比増減(%)	令和5年度(人)	令和4年度(人)	前年度比増減(%)
総患者数	120,651	138,668	-12.9	82,782	82,437	-0.4
新患者数	7,628	9,270	-17.7	6,797	6,679	1.7
1日平均	498.6	570.7	-12.6	226.2	225.9	0.1
平均在院日数(一般)				11.2日	11.3日	-0.1日
病床利用率				73.6%	72.5%	1.1



5 紹介患者数

	令和5年度	令和4年度	前年度比増減
紹介患者数(人)	6,611	6,548	63
紹介率(%)	117.8%	102.6%	15.2

6 救急車両による搬入患者数

	令和5年度	令和4年度	前年度比増減
患者数(人)	4,138	3,636	502
内入院患者数(人)	2,124	1,685	439

7 医療機器の整備（令和5年度分 主なもの）

品名	規格・型式	台数	メーカー
T7ヘルメットライト付き	0416-610-000	3	日本ストライカー
排煙装置	SAFEAIR COMPACT 0703-045-000	1	日本ストライカー
オートレンズメーター	LM-1800P	1	ニデック
個人用透析用水作製装置	NCRXeco Ao 800	1	ニプロ株式会社
個人用透析装置	NCV-11 タイプB	1	ニプロ株式会社
血液ガス分析装置	ABL825 (GLバージョン)	2	ラジオメーター
血液培養自動分析装置	BD バクテック FX40システム	1	BD
筋弛緩モニタリング装置	VA-201R AF-201P	1	日本光電
ホルター記録器	FM-1400	1	フクダ電子
レゼクトスコープシステム	OES ELITE 光学視管 灌流シース他	1	オリンパス
ネオジウム・ヤグ倍周波数レーザーシステム	GreenLight XPS	1	ボストン
全自动遺伝子解析装置スマートジーン	Smart Gene 85100	1	ミズホメディ
セフティクリーンパーテーション（吸引型）	DR-1137-011 NSP-03KH	1	日本船舶薬品
セフティクリーンパーテーション（吹出型）	DR-1137-012 NSP-03FH	1	日本船舶薬品
クリーンコンテナ	CW セット一式	1	サクラ精機
移動型汎用X線撮影装置	tiara air (分離型) CALNEO Flow C47	1	富士
除細動器	デフィブリレーター TEC-5631	2	日本光電
レビーターⅡ 右脚レギュラーセット	18-070-01	1	ミズホ
レビーターⅡ 左脚レギュラーセット	18-070-02	1	ミズホ
テルフュージョン輸液ポンプ28型	TE-281A アンチフリーフロー機能あり	3	テルモ
ハンフリー・フィールドアナライザー	HFA III 840	1	カールツアイス
X線骨密度測定装置	Horizon Ci型	1	東洋メディック
筋電図・誘発電位検査装置	MEB-2306	1	日本光電



8 訪問看護ステーションの運営

訪問延べ回数 4,480回

9 各種教室及び相談

ア 各種教室

・母乳栄養と妊娠中の栄養	27名	・父親のための子育てクラス	36組
・もうすぐお母さんクラス	28名	・孫育てクラス	開催なし
・マタニティヨガクラス	開催なし	・お産後サークル	開催なし
・同伴分娩クラス	開催なし	・家族でいいお産	開催なし

イ 相 談

・医療相談 7,122回

ウ 各種検診・保健指導

・乳児検診（30日健診）	28名	・各種ドック	435名
・福島市4カ月検診	65名	・福島市10カ月検診	66名
・協会けんぽ生活習慣病予防健診	999名	・市町村民健診	477名
・妊婦健診	412名（延べ）	・甲状腺超音波検査（福島県県民健康管理調査）	66名
・小児健診（福島県県民健康管理調査）	2名	・避難区域等以内（福島県県民健康管理調査）	3名
・避難区域等以外（福島県県民健康管理調査）	23名	・保健指導	440件
・その他の健診	2,402名		

10 血液事業

「血液事業」とは、一般に、血液を提供していただける方を募集し、その血液を採取し、血液製剤として、治療を必要とする患者さんのため、医療機関に供給する一連の事業のことをいう。

① 献血状況

令和5年度の全血献血量は、200mL 換算で対前年度比99.9%の103,026単位であった。

成分献血は対前年度比88.0%、200mL 献血については、116.5%、400mL 献血は、99.6%であった。

400mL 献血比率は、対前年度比0.5ポイント減の96.4%となっている。

単位：バッグ

献血方法	令和5年度			令和4年度			令和3年度	
	献血数	構成比率(%)	対前年度比率(%)	献血数	構成比率(%)	対前年度比率(%)	献血数	構成比率(%)
成分献血	20,639	28.2%	88.0	23,447	30.9%	98.5	23,803	31.2%
血小板献血	9,340	12.8%	99.2	9,412	12.4%	102.9	9,143	12.0%
血漿献血	11,299	15.5%	80.5	14,035	18.5%	95.7	14,660	19.2%
全血献血	52,465	71.8%	100.2	52,376	69.1%	99.9	52,454	68.8%
400mL 献血(ア)	50,561	69.2%	99.6	50,741	66.9%	99.9	50,784	66.6%
200mL 献血(イ)	1,904	2.6%	116.5	1,635	2.2%	97.9	1,670	2.2%
合 計	73,104	100.0%	96.4	75,823	100.0%	99.4	76,257	100.0%
全血の単位換算数 [(ア×2)+(イ×1)]	103,026		99.9	103,117		99.9	103,238	
400mL 献血比率 【ア／(ア+イ)】	96.4%			96.9%			96.8%	

※令和5年度の400mL 献血比率の状況は、医療需要と同程度の約96.4%で推移している。

② 供給状況

令和5年度は、226,681単位（200mL 換算）の血液製剤を供給した。

対前年度比については、血小板製剤が91.9%、血漿製剤が105.1%、赤血球製剤が100.5%、総供給単位の合計で96.9%と、令和4年度と比して微減であった。

単位：200mL 単位換算

製剤別	令和5年度			令和4年度			令和3年度	
	供給数	構成比率(%)	対前年度比率(%)	供給数	構成比率(%)	対前年度比率(%)	供給数	構成比率(%)
血小板製剤	100,160	44.2%	91.9	109,035	46.6%	103.3	105,575	44.9%
血漿製剤	24,949	11.0%	105.1	23,743	10.2%	92.7	25,613	10.9%
赤血球製剤	101,572	44.8%	100.5	101,083	43.2%	97.0	104,194	44.3%
合 計	226,681	100.0%	96.9	233,861	100.0%	99.4	235,382	100.0%

※血漿製剤の単位換算は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位にて算出。



③ 推進会議等の開催

会議名	期日	場所
①令和5年度保健福祉事務所等業務担当課長等会議	4月28日(金)	Web 開催
②令和5年度福島県献血推進協力会総会	7月13日(木)	福島県薬剤師会館
③令和5年度福島県献血推進協議会	—	書面開催

④ 献血思想の普及啓発・行事

献血思想の普及と献血意識の高揚を図り、献血運動を推進するため、広報活動を実施した。

ア 「愛の血液助け合い運動」の実施

主 催：福島県、各市町村、日本赤十字社福島県支部

期 間：令和5年7月1日～31日

実施内容：ポスター等の広報資材を各保健福祉事務所、市町村に配布、県内各方部において、赤十字奉仕団、青少年赤十字メンバー等と共に献血を呼びかけた。

街頭献血キャンペーン：県内13市で実施



イ 「献血感謝デー」等の開催

令和5年度は、福島センター、いわき出張所および郡山駅前出張所において新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら開催。

場所	期間	献血者数
福島県赤十字血液センター	令和6年3月16日(土)、17日(日)の2日間	計230名
福島県赤十字血液センター 会津出張所	未開催	
福島県赤十字血液センター いわき出張所	令和6年3月16日(土)、19日(火)、21日(木)、23日(土)の4日間	計207名
福島県赤十字血液センター 郡山駅前出張所	令和6年2月10日(土)～18日(日)の9日間	計605名

※いわき出張所の開所日は毎週 火・木・土曜日

ウ 夏休み血液センター親子見学会

令和5年度は、福島センターおよびいわき出張所において新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら開催。

場所	期間	参加者
福島県赤十字血液センター	令和5年8月11日(金・祝)	25名
福島県赤十字血液センター 会津出張所	未開催	
福島県赤十字血液センター いわき出張所	令和5年8月17日(木)	4名



エ キャンペーン

①「全国学生クリスマス献血キャンペーン2023」

主 催：全国学生献血推進実行委員会

期 日：令和5年12月1日～12月31日

月 日	場 所	献血者数
12月10日(日)	イオンタウン郡山	62名
12月10日(日)	イオンいわき店（バス2台）	135名
12月17日(日)	JR 福島駅東口広場	43名
12月22日(金)	猪苗代町役場（バス2台）	62名
12月18日(月) ～25日(月)	福島・郡山駅前・いわき各献血ルーム (10代・20代献血者対象)	89名



②令和6年「はたちの献血」キャンペーン

主 催：厚生労働省、都道府県、日本赤十字社

期 日：令和6年1月1日～2月29日

月 日	場 所	献血者数
2月4日(日)	イオンいわき店	58名
2月12日(月・祝)	イオン福島店	55名
2月18日(日)	イオン福島店	51名



⑤ 骨髓ドナーの登録者受入及び登録状況

骨髓移植推進財団が推進する骨髓バンク事業のうち、日本赤十字社は造血肝細胞提供支援機関の指定を受け、骨髓提供希望者の登録管理業務を行っている。

骨髓バンク集団登録説明会及び献血併行型ドナー登録会は、県骨髓バンク推進協議会と各保健所が中心となり、今年度県内で72回実施され、389人が登録者した。

福島県の総登録者数 14,048人

⑥ 日本赤十字社有功章社員等贈与規則に基づく表彰

ア 献血団体功労

- ①社長感謝状 8団体
- ②金色有功章 13団体
- ③銀色有功章 17団体
- ④支部長感謝状（金枠） 24団体
- ⑤支部長感謝状（銀枠） 21団体

イ 献血推進団体功労

- ①社長感謝状 0団体
- ②金色有功章 4団体
- ③銀色有功章 1団体
- ④支部長感謝状（金枠） 1団体
- ⑤支部長感謝状（銀枠） 1団体

11 評議員会

(1) 令和5年6月13日 令和5年度第1回評議員会

- 議案第1号 令和4年度日本赤十字社福島県支部事業報告及び収支決算について
- 議案第2号 令和4年度福島赤十字病院事業報告及び収支決算について
- 議案第3号 令和4年度福島県赤十字血液センター事業報告について

(2) 令和6年2月6日 令和5年度第2回評議員会

- 議案第1号 令和6年度日本赤十字社福島県支部事業計画及び収支予算について
- 議案第2号 令和6年度福島赤十字病院事業計画及び収支予算について
- 議案第3号 令和6年度福島県赤十字血液センター事業計画について
- 議案第4号 日本赤十字社福島県支部監査委員の選出について

12 業務監理執行及び会計の監査

令和5年5月24日、25日、監査委員により、次のとおり令和4年度業務監理執行並びに会計について監査が実施された。

- 令和4年度日本赤十字社福島県支部の業務監理執行及び会計の監査
- 令和4年度福島赤十字病院の業務監理執行及び会計の監査
- 令和4年度福島県赤十字血液センターの業務監理執行の監査

13 赤十字社員増強運動

① 赤十字社員増強運動の推進と成果

ア 赤十字社員数

日本赤十字社は、社員をもって組織されており、毎年5月を中心に社員増強運動を展開している。当支部の社員数は下表のとおりである。

	社 員 数
社員（個人）	3,456名
社員（法人）	966法人
合 計	4,422名・法人

※社員…赤十字の理念と活動に賛同いただき、社費として年2,000円以上ご協力の方

イ 社資募集実績額

赤十字の事業は、社員が納入する社費（会費）と寄付金を財源として実施している。令和5年度の社資（社費及び寄付金）実績額は下表のとおりである。

	社資目標額	社資実績額	達成率
一般社資	259,104,000円	275,405,654円	106.3%
法人社資	10,000,000円	29,369,182円	293.7%
合 計	269,104,000円	304,774,836円	113.3%

ウ 令和5年度社資実績額表

	地 区 名	目 標 額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
市 地 区	福島市地区	37,513,000	32,087,378	2,233,873	34,321,251	91.5	35,016,431
	伊達市地区	9,834,000	9,644,200	0	9,644,200	98.1	10,108,250
	二本松市地区	8,362,000	7,671,922	100,000	7,771,922	92.9	9,320,000
	本宮市地区	4,108,000	3,435,465	0	3,435,465	83.6	3,467,760
	郡山市地区	41,868,000	37,640,609	0	37,640,609	89.9	36,186,400
	田村市地区	5,562,000	5,344,173	0	5,344,173	96.1	5,487,678
	須賀川市地区	8,917,000	7,618,500	0	7,618,500	85.4	7,621,590
	白河市地区	8,198,000	8,105,150	5,977	8,111,127	98.9	6,957,522
	会津若松市地区	16,073,000	7,800,978	7,776,000	15,576,978	96.9	11,912,100
	喜多方市地区	7,254,000	6,547,625	0	6,547,625	90.3	6,509,631
	南相馬市地区	6,576,000	6,463,500	0	6,463,500	98.3	6,547,000
	相馬市地区	4,226,000	3,794,500	0	3,794,500	89.8	3,921,400
	いわき市地区	42,438,000	38,132,578	0	38,132,578	89.9	38,732,753
	市 地 区 合 計	200,929,000	174,286,578	10,115,850	184,402,428	91.8	181,788,515

(単位：円)

	分 区 名	目 標 額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
県 北	川俣町分区	2,418,000	2,385,600	0	2,385,600	98.7	2,302,200
	桑折町分区	1,851,000	1,724,800	0	1,724,800	93.2	1,752,500
	国見町分区	1,723,000	1,789,504	0	1,789,504	103.9	1,815,022
	大玉村分区	985,000	1,086,000	0	1,086,000	110.3	1,081,000
	県北地区計	6,977,000	6,985,904	0	6,985,904	100.1	6,950,722
	分 区 名	目 標 額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
県 中	三春町分区	2,416,000	2,181,500	0	2,181,500	90.3	2,191,260
	小野町分区	1,580,000	1,505,000	0	1,505,000	95.3	1,421,500
	鏡石町分区	1,653,000	1,613,050	0	1,613,050	97.6	1,607,500
	天栄村分区	857,000	822,600	0	822,600	96.0	825,000
	石川町分区	2,276,000	1,878,171	0	1,878,171	82.5	1,888,337
	玉川村分区	909,000	856,500	0	856,500	94.2	867,000
	平田村分区	919,000	800,000	0	800,000	87.1	813,000
	浅川町分区	895,000	832,500	0	832,500	93.0	833,500
	古殿町分区	889,000	750,500	0	750,500	84.4	766,000
	県中地区計	12,394,000	11,239,821	0	11,239,821	90.7	11,213,097
	分 区 名	目 標 額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
県 南	西郷村分区	2,313,000	2,464,500	7,000	2,471,500	106.9	2,462,500
	泉崎村分区	798,000	844,000	0	844,000	105.8	840,500
	中島村分区	661,000	555,000	0	555,000	84.0	566,500
	矢吹町分区	2,152,000	2,042,800	0	2,042,800	94.9	2,057,550
	棚倉町分区	2,024,000	1,701,000	0	1,701,000	84.0	1,931,617
	矢祭町分区	910,000	809,500	0	809,500	89.0	808,500
	塙町分区	1,631,000	1,419,846	0	1,419,846	87.1	1,428,090
	鮫川村分区	594,000	519,000	0	519,000	87.4	622,000
	県南地区計	11,083,000	10,355,646	7,000	10,362,646	93.5	10,717,257
	分 区 名	目 標 額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
会 津	磐梯町分区	565,000	527,500	0	527,500	93.4	530,000
	猪苗代町分区	2,529,000	2,355,350	0	2,355,350	93.1	2,788,874
	北塩原村分区	527,000	363,200	0	363,200	68.9	574,200
	西会津町分区	1,382,000	1,143,500	0	1,143,500	82.7	1,203,501
	会津坂下町分区	1,992,000	1,515,420	0	1,515,420	76.1	1,609,150
	湯川村分区	438,000	436,000	0	436,000	99.5	420,600
	柳津町分区	622,000	458,500	0	458,500	73.7	525,105
	会津美里町分区	3,231,000	2,857,560	0	2,857,560	88.4	2,863,320
	三島町分区	385,000	316,500	1,000,000	1,316,500	341.9	1,323,500
	金山町分区	568,000	434,000	0	434,000	76.4	472,000
	昭和村分区	401,000	412,747	0	412,747	102.9	415,100
	会津地区計	12,640,000	10,820,277	1,000,000	11,820,277	93.5	12,725,350
	分 区 名	目 標 額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
南 会 津	南会津町分区	2,922,000	2,429,500	1,500	2,431,000	83.2	2,454,300
	下郷町分区	1,088,000	1,066,891	9,000	1,075,891	98.9	1,080,336
	檜枝岐村分区	118,000	94,500	0	94,500	80.1	95,000
	只見町分区	959,000	658,500	0	658,500	68.7	627,000
	南会津地区計	5,087,000	4,249,391	10,500	4,259,891	83.7	4,256,636
	分 区 名	目 標 額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
相 双	新地町分区	1,189,000	1,150,500	0	1,150,500	96.8	1,162,500
	飯館村分区	310,000	221,600	0	221,600	71.5	142,000
	双葉町分区	100,000	28,500	0	28,500	28.5	250,800
	檜葉町分区	733,000	2,158,731	0	2,158,731	294.5	1,770,500
	広野町分区	500,000	523,500	0	523,500	104.7	568,500
	富岡町分区	300,000	347,962	10,000	357,962	119.3	691,600
	川内村分区	344,000	706,000	0	706,000	205.2	742,400
	大熊町分区	130,000	238,000	0	238,000	183.1	533,109
	浪江町分区	318,000	165,000	0	165,000	51.9	380,800
	葛尾村分区	70,000	193,000	5,000	198,000	282.9	138,000
	相双地区計	3,994,000	5,732,793	15,000	5,747,793	143.9	6,380,209



13 赤十字社員増強運動

(単位：円)

		目標額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
郡 地 区 計		52,175,000	49,383,832	1,032,500	50,416,332	96.6	52,243,271
地 区 分 区 計		253,104,000	223,670,410	11,148,350	234,818,760	92.8	234,031,786

		目標額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
支 部	支部直接(個人)	6,000,000	51,735,244		51,735,244	862.3	17,622,348
	支部直接(法人)	10,000,000		18,220,832	18,220,832	182.2	11,943,629
支 部 扱 合 計		16,000,000	51,735,244	18,220,832	69,956,076	437.2	29,565,977

		目標額	一般社資実績額	法人社資実績額	実績合計額	達成率(%)	前年度実績額
一般 社 資 合 計		259,104,000	275,405,654		275,405,654	106.3	245,546,061
法 人 社 資 合 計		10,000,000		29,369,182	29,369,182	293.7	18,051,702
福 島 県 支 部 合 計		269,104,000	275,405,654	29,369,182	304,774,836	113.3	263,597,763

工 社資目標額と実績額の推移

	社資目標額(千円)			社資実績額(円)			達成率 (%)
	一 般	法 人	合 計	一 般	法 人	合 計	
令和5年度	259,104	10,000	269,104	275,405,654	29,369,182	304,774,836	113.3
令和4年度	259,104	10,000	269,104	245,546,061	18,051,702	263,597,763	98.0
令和3年度	259,104	10,000	269,104	261,212,637	27,568,950	288,781,587	107.3
令和2年度	259,104	10,000	269,104	301,752,423	21,837,377	323,589,800	120.2
令和元年度	256,299	10,000	266,299	254,272,806	19,467,118	273,739,924	102.8
平成30年度	256,299	10,000	266,299	281,454,989	22,030,260	303,485,249	114.0
平成29年度	256,299	10,000	266,299	267,308,697	28,601,881	295,910,578	111.1
平成28年度	259,335	10,000	269,335	271,623,533	17,108,292	288,731,825	107.2
平成27年度	255,335	8,000	263,335	276,792,490	21,545,712	298,338,202	113.3
平成26年度	255,335	8,000	263,335	266,524,268	15,934,934	282,459,202	107.3

2 表 彰

ア 社資功労表彰

(ア) 厚生労働大臣感謝状【4件】

(同一年度内に社資100万円以上の個人並びに300万円以上の法人)

市 町 村	個 人	法 人
福 島 市	1	
伊 達 市	1	
郡 山 市	2	

(イ) 社長感謝状【14件】

(金色有功章受章後の社資が50万円以上都度)

市 町 村	個 人	法 人
福 島 市	1	2
伊 達 市	1	
郡 山 市	2	
須 賀 川 市	2	

市 町 村	個 人	法 人
会 津 若 松 市	1	2
南 相 馬 市		1
い わ き 市		1
三 島 町		1

(ア) 金色有功章 【11件】(社資が50万円以上)

市町村	個人	法人
福島市	2	
伊達市	2	
二本松市		1
郡山市	1	
白河市	1	
喜多方市	1	

市町村	個人	法人
いわき市	1	
西郷村		1
鮫川村	1	
南会津町		1
檜葉町	1	
アメリカ合衆国		1

(イ) 銀色有功章 【11件】(社資が20万円以上)

市町村	個人	法人
福島市	2	
郡山市	1	
白河市	1	1
いわき市	1	1

市町村	個人	法人
小野町	1	
棚倉町	1	
新地町		1
檜葉町	1	

イ 業務功労表彰

(ア) 役職功労 【金色有功章3件、銀色有功章5件】

市町村	役職	金色有功章	銀色有功章
郡山市	協賛委員		4
桑折町	分区長	1	
中島村	分区長	1	
柳津町	事務委員	1	1

(イ) 奉仕団員等奉仕者 【社長感謝状5件(金色有功章受章後活動年数10年以上)、
金色有功章85件(活動年数20年以上)、
銀色有功章152件(活動年数15年以上)】

市町村	社長感謝状	金色有功章	銀色有功章
福島市		1	12
伊達市			7
二本松市		4	3
本宮市		5	6
郡山市	1	4	11
田村市		3	1
須賀川市			2
白河市	1	1	1
会津若松市		2	15
喜多方市		4	14
南相馬市		8	3
いわき市	1	8	23
大玉村			1
三春町		1	2
小野町			1
石川町		2	
玉川村		6	5
平田村		2	
浅川町		1	

市町村	社長感謝状	金色有功章	銀色有功章
古殿町		1	1
西郷村			3
泉崎村			1
中島村		1	1
矢吹町		2	6
棚倉町		3	1
矢祭町		1	3
塙町		6	6
猪苗代町	2		
北塩原村		2	6
柳津町		3	
会津美里町		5	5
金山町		1	3
南会津町			3
下郷町		2	5
新地町		2	
川内村		4	
茨木県			1



(7) 献血者 【金色有功章127件（献血100回以上）、銀色有功章171件（献血70回以上）】

市町村	金色有功章	銀色有功章
福島市	34	52
伊達市	5	6
二本松市	3	4
本宮市	2	2
郡山市	30	22
田村市		2
須賀川市	8	12
白河市	1	5
会津若松市	5	5
喜多方市	2	
南相馬市	1	9
相馬市	1	2
いわき市	17	27
川俣町		1
桑折町	2	1
国見町	1	4
大玉村	2	1

市町村	金色有功章	銀色有功章
三春町	2	1
鏡石町	2	
石川町	1	
平田村		1
浅川町		1
古殿町	1	
中島村		1
棚倉町	2	1
磐梯町		1
猪苗代町		1
会津坂下町	1	1
三島町		1
南会津町	1	1
只見町	1	2
檜葉町		1
富岡町	2	2
葛尾村		1

③ 地区有功会の結成状況

有功章受章者を会員とする地区（地方・分区）有功会は、現在15地区で結成されており、赤十字の社旨普及と仲間づくり（社員加入促進）を目的として活動を展開し、赤十字活動の支援組織としての役割を担っている。

(令和5年4月1日現在)

名 称	結 成	会長名	会 員 数					事務局	付記
			社資(個)	社資(法)	業務	献血	合計		
1 福島市地区有功会	H6. 4.12	小田 長次	17	48	0	0	65	福島市地区	
2 郡山市地区有功会	H5. 5.11	遠藤 君子	19	37	31	0	87	郡山市地区	
3 いわき市地区有功会	H5. 5.25	猪狩 正明	27	48	0	0	75	いわき市地区	
4 会津若松市地区有功会	S46. 5.26	宮森 泰弘	45	10	1	0	56	会津若松市地区	
5 喜多方市地区有功会	S49. 10.28	武藤 顕夫	90	0	20	25	135	喜多方市地区	
6 田村市地区有功会	H18. 3.23	今泉 富代	6	2	9	1	18	田村市地区	
7 相馬市地区有功会	H13. 11.22	猪又 輝雄	2	3	0	0	5	相馬市地区	
8 伊達地方有功会	H6. 3.24	浅野 榮	4	2	27	2	35	伊達市地区	
9 安達地方有功会	S44. 2.15	渡辺 初治	17	16	37	0	70	二本松市地区	
10 県中地区有功会	H17. 6.16	—	—	—	—	—	—	県中地区	休会
11 会津地区有功会	H18. 5.31	鈴木 政英	54	13	102	181	350	会津地区	
12 南会津地区有功会	S47. 4.5	渡部進一郎	30	5	0	0	35	南会津地区	
13 相馬地方有功会	S41. 9.3	濱田 幸政	19	11	0	0	30	相双地区	
14 双葉地方有功会	H6. 4.19	—	—	—	—	—	—	相双地区	休会
15 猪苗代町分区有功会	H3. 1.29	大坂 恭一	20	0	25	36	81	猪苗代町分区	
会津地区にも重複加入している猪苗代町の会員			-19	0	-23	-29	-71		
合 計			331	195	229	216	971		

④ 日本赤十字社福島県支部有功会連合会の会議等

名 称	開 催 日	会 場	参加者(人)
①有功会連合会総会	6月30日(金)	福 島 市	地区有功会長・事務局22
②紺綏・有功会会長協議会総会	10月12日(木)	広 島 市	県有功会連合会長、支部2
③福島県有功会員交流会	11月28日(火)	郡 山 市	有功会員・事務局47
④有功会運営協議会	令和6年3月22日(金)	福島県支部	有功会長・事務局22

⑤ 組織振興課関係会議・研修会等

名 称	開 催 日	会 場	参加者(人)
①地区・分区担当課長・担当者会議	4月21日(金)	福 島 市	担当課長・担当者52
②全国赤十字大会	5月18日(木)	東 京 都	理事・有功会員・奉仕団員・社資協力者・支部21
③地区・分区新任担当者研修会	5月31日(水)	福島県支部	新任担当者29
④第1ブロック組織振興課長会議	7月5日(水)～6日(木)	秋田県支部	参加1
⑤全国振興業務担当課長会議	8月30日(水)	W e b	参加1
⑥第1ブロック振興業務担当者研究会	9月5日(火)～6日(水)	北海道支部	参加1
⑦地区長会議	令和6年1月25日(木)	福島県支部	副地区長等16

14 会計報告

① 令和5年度一般会計歳入歳出決算報告

福島県支部

(円)

収 入		支 出	
科 目(項)	金 額	科 目(項)	金 額
社 資 収 入	305,296,436	災 害 救 護 事 業 費	77,745,154
補 助 金 及 び 交 付 金 収 入	3,427,047	社 会 活 動 費	74,401,958
災 害 義 援 金 預 り 金 収 入	42,760,360	国 際 活 動 費	1,441,600
繰 入 金 収 入	1,441,600	指 定 事 業 地 方 振 興 費	4,321,600
貸 付 金 償 戻 金 収 入	6,660,000	地 区 分 区 交 付 金 支 出	45,397,296
雑 収 入	2,808,650	社 業 振 興 費	24,843,903
前 年 度 繰 越 金	63,999,403	基 盤 整 備 交 付 金・補 助 金 支 出	1,170,000
		償 戻 金 支 出	6,660,000
		積 立 金 支 出	10,654,222
		総 務 管 理 費	40,649,470
		資 産 取 得 及 び 資 産 管 理 費	16,520,596
計	426,393,496	本 社 送 納 金 支 出	44,306,225
		計	348,112,024
		収 入 支 出 差 引 額	78,281,472

② 令和5年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告

福島赤十字病院

収益的収入及び支出

(円)

収 入		支 出	
科 目(項)	金 額	科 目(項)	金 額
医 業 収 益	7,463,300,264	医 業 費 用	8,349,250,710
医 業 外 収 益	611,964,960	医 業 外 費 用	34,269,674
医 療 社 会 事 業 収 益	1,654,176	医 療 奉 仕 費 用	139,311,393
付 帯 事 業 収 益	39,333,048	付 帯 事 業 費 用	44,734,620
特 別 利 益	10,422,560	特 別 損 失	1,583,717
計	8,126,675,008	計	8,569,150,114
		収 入 支 出 差 引 額	△442,475,106

資 本 的 収 入 及 び 支 出

(円)

収 入		支 出	
科 目(項)	金 額	科 目(項)	金 額
固 定 負 債	5,912,334	固 定 資 産	82,095,141
そ の 他 資 本 収 入	651,619,926	借 入 金 等 償 戻	575,437,119
計	657,532,260	計	657,532,260
		収 入 支 出 差 引 額	0

15 日本赤十字社福島県支部役員名簿

(令和6年7月1日現在)

役職名	氏 名	公 職 名	役職名	氏 名	公 職 名
支 部 長	内堀 雅雄	福島県知事	評 議 員	渡辺真理子	本宮市保健福祉部長
副支部長	佐藤 宏隆	福島県副知事	//	引地 真	国見町長
監査委員	横山 克英	会津若松市地区有功会副会长	//	澤村 和明	平田村長
//	菅野 裕之	元福島県保健福祉部長	//	木賊 正男	鏡石町長
//	小野佐重喜	福浜大一建設(株)取締役常務執行役員	//	加藤 幸一	中島村長
本社理事	小櫻 輝	会社役員	//	佐川正一郎	矢祭町長
代 議 員	小櫻 輝	会社役員	//	薄 友喜	西会津町長
//	遠藤 君子	郡山市地区有功会長	//	杉山 純一	会津美里町長
//	濱田 幸政	相馬地方有功会長	//	渡部進一郎	南会津地区有功会長
//	佐原和佳子	赤十字奉仕団福島県支部委員会委員長	//	濱田 幸政	相馬地方有功会長
//	野崎 洋一	元日赤県支部事務局長	//	鈴木 愛子	広野町赤十字奉仕団委員長
//	飯間香保子	赤十字奉仕団指導講師	//	佐原和佳子	赤十字奉仕団福島県支部委員会委員長
評 議 員	村田 泰一	福島市健康福祉部長	//	芳見 弘一	福島民報社代表取締役社長
//	高村 劫	福島市地区有功会理事	//	高野 武彦	福島県社会福祉協議会副会長
//	阿部 隆	福島市地区有功会監事	//	野崎広一郎	福島民友新聞社代表取締役社長・編集主幹
//	飯沼 育子	福島市湯野赤十字奉仕団委員長	//	鶴原 理	青少年赤十字福島県指導者協議会会長
//	山口 勝彦	会津若松市健康福祉部長	//	平栗 辰也	福島県赤十字安全奉仕団委員長
//	酒井 紹雄	会津地区青少年赤十字賛助奉仕団顧問	支部参与	三浦 爾	福島県保健福祉部長
//	太田 健三	郡山市社会福祉協議会会長	//	渡辺 春吉	福島県保健福祉部保健福祉総務課長
//	佐久間喜重	郡山市献血推進協会会长	//	長尾 憲宏	福島県保健福祉部社会福祉課長
//	堀田 操	郡山市保健福祉部長	//	風間 秀元	福島県保健福祉部薬務課長
//	遠藤 君子	郡山市地区有功会長	//	鈴木 竜次	福島県危機管理部長
//	荒川 正勝	いわき市社会福祉協議会会長	//	佐久間止揚	福島県危機管理部災害対策課長
//	佐々木 篤	いわき市保健福祉部長	//	大沼 博文	福島県教育委員会教育長
//	小林 真一	平地区保健福祉センター所長	//	伊藤 賢一	福島県教育庁理事兼政策監
//	遠藤トモ子	いわき市保健福祉部長	//	小林 雄	福島県教育庁社会教育課長
//	菊地 浩明	白河市保健福祉部長	//	川井 孝寿	福島県教育庁義務教育課長
//	秋川 千寿	須賀川市市民福祉部長	//	星 光政	元日赤県支部事務局長
//	齋藤 勇	喜多方市社会福祉協議会会長	//	谷口 幸子	元日赤県支部事務局長
//	武澤美保子	相馬市社会福祉協議会次長	//	高萩 秀則	元日赤県支部事務局長
//	遠藤 吉次	二本松市社会福祉協議会副会长	//	太田 久雄	元日赤県支部事務局長
//	鈴木 克実	田村市保健福祉部長	//	穴沢 正行	元日赤県支部事務局長
//	村上 勇一	南相馬市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	//	野崎 洋一	元日赤県支部事務局長
//	長沢 弘美	伊達市健康福祉部長	//	篠木 敏明	元日赤県支部事務局長

資料編

令和5年度日本赤十字社福島県支部現勢

(令和6年3月31日現在)

■沿革

- 明治22年（1889） 6月…日本赤十字社福島県委員部発足
明治27年（1894） 1月…福島県委員部を福島支部と改称
昭和18年（1943） 8月…福島療院開設
昭和19年（1944） 8月…福島療院を福島赤十字病院と改称
昭和27年（1952） 10月…日本赤十字社福島県支部と改称
昭和37年（1962） 2月…福島赤十字病院移転新築
昭和46年（1971） 4月…日本赤十字社福島県支部移転新築
昭和46年（1971） 4月…福島県赤十字血液センター開設
昭和56年（1981） 4月…福島県会津赤十字血液センター開設
昭和61年（1986） 4月…福島県いわき赤十字血液センター開設
昭和63年（1988） 11月…福島県赤十字血液センター郡山駅出張所開設
平成10年（1998） 4月…日本赤十字社福島県支部移転新築
平成10年（1998） 4月…福島県赤十字血液センター移転新築
平成11年（1999） 11月…福島県赤十字血液センター郡山供給出張所開設
平成13年（2001） 9月…福島県赤十字血液センター原町供給出張所開設
平成18年（2006） 7月…福島県赤十字血液センター郡山駅出張所移転（リニューアル）
平成23年（2011） 11月…福島県赤十字血液センター相馬供給出張所移転
平成24年（2012） 3月…福島県赤十字血液センター郡山供給出張所移転
平成27年（2015） 6月…福島県赤十字血液センター相馬供給出張所移転
平成29年（2017） 2月…福島県赤十字血液センター郡山駅前出張所移転
平成31年（2019） 1月…福島赤十字病院移転新築開院

■社員……………(個人) 3,456名、(法人) 966法人

■評議員……………39名

■役員 支部長 内堀 雅雄 副支部長 佐藤 宏隆
監査委員 3名 参与 17名

■施設及び職員

施設名	所在地	電話番号	職員数
日本赤十字社福島県支部	〒960-1197 福島市永井川字北原田17	024-545-7997	17名
福島赤十字病院	〒960-8530 福島市八島町7-7	024-534-6101	594名
福島県赤十字血液センター	〒960-1198 福島市永井川字北原田17	024-544-2550	60名
福島県赤十字血液センター会津出張所	〒965-0003 会津若松市一箕町大字八幡字門田1-6	0242-24-6650	14名
福島県赤十字血液センターいわき出張所	〒970-8044 いわき市中央台飯野五丁目1-1	0246-29-5624	17名
郡山駅前出張所（郡山駅前献血ルーム）	〒963-8002 郡山市駅前一丁目6番10号	024-925-2638	17名
福島県赤十字血液センター郡山供給出張所	〒963-8044 郡山市備前館一丁目132番地	024-927-5199	9名
福島県赤十字血液センター相馬供給出張所	〒976-0152 相馬市粟津字粟津18番地7	0244-35-6066	4名

■県市町村組織

	合計数	郡	市	町 村
地区	19	6	13	—
分区	108	—	62	46
計	127	6	75	46

■災害救護

救護班・救護員	8班・304名
無線局	基地局 2局、移動局 50局
救援車両	救急車 支部1台、病院2台 医師派遣用自動車 支部1台、病院1台 災害救援車 支部8台、病院1台
救援物資 (在庫数)	毛布 5,625枚 バスタオル 2,726枚 緊急セット 3,055個 安眠セット 472個 タオルケット 499枚

■医療事業

施設名	福島赤十字病院
診療科・病床総数	25科 296床
患者数	入院 82,782名／1日平均 226.2名 外来 120,651名／1日平均 498.6名

■血液事業

献血者数		血液製剤供給(200mL換算)	
成分献血	20,639名	赤血球製剤	101,572単位
400mL献血	50,561名	血漿製剤	24,949単位
200mL献血	1,904名	血小板製剤	100,160単位
合計	73,104名	合計	226,681単位

■青少年赤十字

区分	加盟校数	メンバー数
幼稚園	16校	357名
小学校	383校	67,455名
中学校	204校	38,834名
高等学校	32校	3,890名
特別支援学校	5校	375名
義務教育学校	7校	1,185名
合計	647校	112,096名

■赤十字奉仕団

区分	団数	団員数
地域	105団	8,214名
青年	4団	191名
特種	34団	1,190名
合計	143団	9,595名
指導講師		8名

■講習・防災セミナー普及活動

	指導員	受講者数
急救法	98名	6,503名
水上安全法	17名	2,335名
幼児安全法	41名	769名
健康生活支援講習	26名	861名
防災セミナー		4,918名
合計(重複除く)	126名	15,386名

■看護師養成

学校	学生数
日本赤十字秋田看護大学	8名
日本赤十字看護大学	0名
日本赤十字北海道看護大学	1名
合計	9名

■国際活動

第一ブロック 支部参加事業	総額	6,000,000円(920,000円)
	救急法普及支援事業 ラオス	1,500,000円(230,000円)
	青少年赤十字海外支援事業 バヌアツ	1,500,000円(230,000円)
	気候変動等レジリエンス強化事業 ルワンダ	1,500,000円(230,000円)
	気候変動対策事業 アフガニスタン	1,500,000円(230,000円)

※(内は福島県支部の負担金額)

赤十字の活動資金にご協力をお願いします。

活動資金への協力方法

- 地域の自治会や町内会の中でご協力いただく方法。



- 最寄りの市町村／社会福祉協議会の赤十字の窓口へ申し込みいただく方法。



- 赤の振込用紙でご協力いただく方法。(振込手数料無料)



◎日本赤十字社の創立記念日である5月1日から1ヵ月間は、赤十字運動月間として特に広く社員加入のご案内をしています。

●日本赤十字社の表彰

表彰種別	表彰の基準	贈与される表彰品
特別社員	一時又は数次（10年以内）に2万円以上のご協力をいただいた方	特別社員称号贈与通知書、金色バッジ（個人のみ）、陶器製門標（個人のみ）
支部長感謝状	一時又は累計で10万円以上20万円未満のご協力をいただいた方	感謝状
銀色有功章	一時又は累計で20万円以上50万円未満のご協力をいただいた方	銀色有功章（楯）、陶器製門標（大）（個人のみ）、略章
金色有功章	一時又は累計で50万円以上のご協力をいただいた方	個人：金色有功章、章記、略章 法人：金色有功章（楯）、略章

※年間100万円以上のご協力については、上記以外の表彰もございますので、詳しくは当支部までお問合せ下さい。



●日本赤十字社への社費や寄付金に適用される税制上の優遇措置（要旨）

納入者区分	区分	関係根拠法令	適用期間	措置の内容
個人	所得税の控除	所得税法第78条第2項第3号	通年	寄付金の全額（ただし、上限は寄付者の年間所得総額の40%まで）から2千円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。
	個人住民税の控除	地方税法第37条の2及び同法施行令第7条の17（募集中額上限に達した時点で終了）	通年	総理大臣が毎年指定告示する日赤事業に対してなされる寄付金の全額（ただし上限は寄付者の年間所得総額の30%まで）から2千円差し引いた額の10%が寄付者の住民税額から控除されます。（居住地の都道府県支部に寄付の場合のみ適用）
	相続税の非課税	租税特別措置法第70条	通年	寄付した相続財産の価格は、相続人の納めるべき相続税の課税価格に算入されません。
法人	法人税の控除（指定寄付金）	法人税法第37条第3項第2号に基づく財務省告示（募集中額上限に達した時点で終了）	4月～9月	財務大臣が毎年指定告示する日赤事業に対してなされる寄付金の全額が、法人の寄付金損金算入限度額にかかわりなく損金の額に算入されます。
	法人税の控除（特定公益増進法人に対する寄付金）	法人税法第37条第4項	通年	通常の寄付金の損金算入限度額とあわせて、別枠で算出した特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額が損金の額に算入されます。



日本赤十字社 福島県支部

〒960-1197 福島市永井川字北原田17

- | | | |
|--------|-------------------|-------------------|
| □総務課 | TEL (024)545-7997 | FAX (024)545-7923 |
| □組織振興課 | TEL (024)545-7998 | FAX (024)545-7924 |
| □事業推進課 | TEL (024)545-7996 | FAX (024)545-7923 |

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/fukushima>